

和仏法律学校講義録

若槻, 禮次郎 / 掛下, 重次郎 / 松岡, 義正

(出版者 / Publisher)

和仏法律学校

(巻 / Volume)

2

(号 / Number)

号外の7

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

53

(発行年 / Year)

1901-05-10

和佛法律學校

講義錄

第貳部

號外之七

商法
商(自二二三) 法律學士掛下重次郎

破產法
法(自四五三) 法律學士松岡義正

現行租稅法論
論(自三〇五) 法律學士若槻禮次郎



090
1900
2-2-7

船體機關等ノ存スト雖モ修繕スルコト能ハサルトキハ到底航海ノ用ニ供スルコト能ハサルカ故ニ此場合ニ運送契約ノ終了スルモノトスルハ當然ナリトス而シテ此場合ニ於テモ第五百七十一條ニ列舉シタル事由ニ該當スルトキハ船舶ヘ修繕スルコト能ハサルモノト看做サルルモノトス

(ハ)船舶カ捕獲セラレタルトキ 此場合ニ於テハ船舶所有者ハ船舶ノ所有權ヲ有セサルニ至リタルカ故ニ其沈没シタル場合ト同シク運送契約ハ終了スルモノトセサルヘカラス

第二 運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルコト 運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ最早運送スヘキ物品存セサルヲ以テ運送契約ハ行ハントスルモ能ハサルナリ例ヘハ運送セントスル牛馬カ悉ク疾病ニ因リテ斃死シタル場合ノ如キ是ナリ其滅失カ發航前ニ生シ備船者ニ於テ更ニ同種ノ物品ヲ積込ムコトヲ得可キトキハ運送品ノ滅失ト看做スコトヲ得サルヲ以テ此ノ如キ場合ニ於テハ本條ノ規定ヲ適用スヘキ限ニ在ラサルナリ而シテ此第二ノ場合モ船舶ノ發航ノ前後ヲ問フコトナク適用セラルルモノトス

不可抗力ニ因リテ運送品カ滅失シタル場合ニハ備船者ニ毫モ過失ナケレトモ亦船舶所有者ニモ過失ナキモノニシテ運送契約ハ請負契約ナレハ船舶ノ發航後ニ於テ運送品ノ滅失シタルトキハ既ニ其仕事ノ幾分ヲ爲シタルモノニシテ其契約ヲ履行シタルモノナレハ船舶所有者ニ損失ヲ被ラシムヘキ理ナシトノ非難ヲ爲ス者アラシカナレトモ然レトモ既ニ叙述シタルカ如ク運送貨ハ運送品ノ代價ヲ以テ支拂フヘキヲ通例トスルニ備船者カ不可抗力ニ因リテ運送品ヲ滅失シタル場合ニモ之ヲ支拂ハサルヘカラサルモノトスルトキハ備船者ハ運送品ノ價格外ニ尙ホ運送貨ヲ支拂ハサルヘカラサルモノニシテ甚タ酷ニ失ス又一方ニ於テハ請負契約ニ關スル報酬ハ仕事ノ目的物ノ引渡ト同時ニ之ヲ與フルモノニシテ不可抗力ニ因リテ運送品カ滅失シタルトキハ船舶所有者ハ之ヲ荷受人ニ引渡ササルヲ以テ其報酬タル運送貨ヲ支拂フコトヲ要セザルナリ民法第六三三條是ヲ以テ此場合ニ備船者カ運送貨ヲ支拂フコトヲ要セザルモノトシタルハ至當ナリ是レ第六百十九條ノ規定ニ從ヒ第三百三十六條ヲ準用スルヨリ生スル所ニシテ獨逸商法第六百十八條ニモ規定セリ然レトモ運送

品カ其性質瑕疵又ハ備船者ノ過失等ニ因リテ滅失シタルトキハ備船者ハ其滅失シタル部分ノ運送貨ヲモ支拂ハサルヘカラス(舊商法第九一二條何トナレハ此場合ハ船舶所有者ニ過失ナク又ハ已ムヲ得サルモノトシテ損害ニ甘シセザルヲ得サルヘキ天災等ノ事由アルニモアラズ全ク備船者ノ負擔スヘキ損害ナルヲ以テ船舶所有者ハ其運送ノ爲メ供シタル勞務費用ノ報酬トシテ運送貨ヲ請求スルコトヲ得ルハ當然ナリ(第三三六條第二項)

右第一ノ場合カ船舶ノ發航前ニ生シタルトキハ毫モ運送ヲ爲ササルトキナルカ故ニ別ニ運送貨ニ關シテ問題ヲ生スルコトナシ之ニ反シテ右ノ場合カ若シ航海中ニ生シタルトキハ契約ノ當然終了スルコトハ以上説キタルカ如シト雖モ其終了スルマテ既ニ運送ヲ爲シ幾分か仕事ノ結果ヲ生スルコトアルヘケレハ此ノ如キ場合ニ於テ其仕事ノ結果ノ割合ニ應ジテ運送貨ヲ支拂ハシムルハ相當ナリ是レ請負契約ノ當然ノ結果ト云フヘキナリ今之カ例ヲ舉タレハ横濱ヨリ香港マテ或物品ノ運送ヲ爲スニ當リ長崎近海ニ於テ暴風ニ遇ヒ船舶ヲ沈没シタルトキ幾分ノ運送品ヲ救フコトヲ得テ長崎ニ陸揚セタルトキハ備船者ハ

其運送品ニ付キ長崎マテノ運送賃ヲ支拂ハサルヘカラス然レトモ如何ナル場合ニ於テモ單ニ以上ノ原則ニ從フコトトスルトキハ船舶カ沈没スル由如キ場ヲ稀ナルヘケレハ如何ニ運送品カ其價格ヲ減少シタルニ拘ラス運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ支拂ハサルヘカラサルニ於テハ備船者ハ運送品ノ價格以上ノ運送賃ヲ支拂ハサルヲ得サルコトアリテ備船者ニ對シテ甚タ酷ニ失スルヲ以テ此場合ニ於テハ運送品ノ價格ヲ超ニサル限度ニ於テ運送賃ヲ支拂フヘキモノトシタリ此立法ノ趣旨ハ船舶所有者カ第五百四十四條ノ規定ニ從ヒ船舶債權者ニ對シテ損害ヲ賠償スヘキ場合ニ船舶及ヒ運送賃ヲ委付シテ其責ヲ免ルルコトヲ得ルト同一ナリ

備船者カ運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ支拂フヘキハ運送品カ全部若クハ一部現存スル場合ニ限ル若シ運送品カ船舶ト共ニ沈没シ又ハ捕獲セラレテ存在セザルトキハ備船者ノ爲メニハ請負契約カ結果ヲ生セザリシモノナルカ故ニ備船者ハ運送賃ヲ支拂フコトヲ要セザルナリ例ヘハ橫濱ヨリ香港マテ石炭三千

噸ノ運送ヲ爲スニ當リ長崎近海ニ於テ船舶沈没シタル場合ニ於テ其二千噸ヲ救助シ得タルトキハ備船者ハ橫濱ヨリ長崎マテ二千噸ニ對スル運送賃ヲ支拂フヲ以テ足ルモノニシテ船舶ト共ニ沈没シタル他ノ一千噸ニ對シテハ毫モ運送賃ヲ支拂フコトヲ要セザルナリ

○禁合其他不可抗力ノ備船契約ニ及ホス效果——第六百十四條 航海又ハ運送カ法令ニ反スルニ至リタルトキ其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキハ各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得前項ニ掲ケタル事由カ發航後ニ生シタル場合ニ於テ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ備船者ハ運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ支拂フコトヲ要ス(舊商法第八九一條第一項第八九二條佛商法第二七六條第二七九條第三〇〇條獨商法第六三一條)備船契約締結後ニ於テ宣戰ノ公布アリテ政府ノ命令ニ依リ到達地ト貿易交通ヲ禁セラルルコトアリ或種類ノ商品ノ運送ヲ禁セラルルコトアリテ契約ヲ履行スルコト能ハサルニ至リタルトキハ各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルモノトセリ又不可抗力ニ因リ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ

至リタルトキ例ハ海水氷結シ又ハ軍用ノ爲メニ船舶ノ徵發セラレ又ハ本國若クハ外國政府ノ命令ニ依リテ船舶ノ差押ヘラレタルカ如キ場合ニ於テモ亦同シキモノトズ而シテ此契約ノ解除ニ付テハ當事者ノ孰レニモ毫モ過失ノ責ムヘキモノナキヲ以テ縱令一方ニ於テ之カ爲メ損害ヲ被ルコトアルトモ他ノ一方ニ對シテ其賠償ヲ求ムルコトヲ得ス故ニ運送品ノ船積及ヒ陸揚ニ關スル費用ノ如キハ備船者之ヲ負擔シ船舶ノ積裝費ノ如キハ船舶所有者之ヲ負擔セサルヘカラス是レ過失ナキノ損失ハ皆所有者ノ負擔トストノ一般ノ原則ニ從ヘルモノナリ然レトモ此等ノ事由ハ或ハ發航前ニ生スルコトアリ或ハ發航中ニ生スルコトアリテ其航海中ニ生シタル場合ニ於テ契約ヲ解除シタルトキハ既ニ船舶所有者ハ備船者ノ爲メニ幾分ノ航海ヲ爲シタルカ故ニ其航海ハ縱令契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサリシト雖モ是レ船舶所有者ノ責ニ歸セザルヲ以テ備船者ハ船舶所有者ニ對シ其仕事ノ結果ニ應シテ相當ノ運送貨ヲ支拂ハサルヘカラス是レ請負契約ヨリ生スル自然ノ結果ナリトス

航海運送ノ禁止カ單ニ到達港ノミニ關スルトキハ船長ハ發航ノ後ニ於テハ運

送品ヲ發航港ニ積戻スカ到達港ノ最近ノ港ニ陸揚スルカ將タ之ヲ適當ノ港ニ於テ賣却スルカ等積荷ノ利害關係人ノ利益ノ爲メニ最モ適當ナル方法ニ依リテ之ヲ處分セザルヘカラス(第五六五條)

○運送品ノ一部ハ滅失シ又ハ禁令其他不可抗力ニ因リテ契約ノ目的ヲ達スルコト能ハサル場合 第六百十五條 第六百十三條第一項第二號及ヒ前條第一項ニ掲ケタル事由カ運送品ノ一部ニ付テ生シタルトキハ備船者ハ船舶所有者ノ負擔ヲ重カラシメサル範圍内ニ於テ他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ得備船者カ前項ニ定メタル權利ヲ行ハント欲スルトキハ運滞ナク運送品ノ陸揚又ハ船積ヲ爲スコトヲ要ス若シ其陸揚又ハ船積ヲ怠リタルトキハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス(獨商法第六三八條)

是マテ叙述シタル第六百十三條第一項第二號及ヒ第六百十四條第一項ハ運送品ノ全部カ滅失シ又ハ禁令其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ關スレトモ以上ノ如キ事由カ運送品ノ全部ニ對シテ生セスシテ其一部ニ對シテ生シタルトキハ如何例ヘハ牛ト馬トヲ運

送スル場合ニ牛ノミカ疫病ニ罹リ悉皆斃死シタルカ如キトキ又ハ積荷ノ中單ニ戰爭ノ起リタル時戰時禁制品黒死病流行ノ際艦襪古綿ノミ運送ヲ禁セラレタルトキハ船舶中滅失シタル運送品ヲ船積セシ部分ハ空所ト爲ルヘク又運送ヲ禁セラレタル運送品ハ未タ船積前ナレハ船積ヲ爲ササルヘク若シ又既ニ船積後ナレハ陸揚スヘクシテ之カ船積ニ充テタル部分ハ空所ト爲ルヘケレハ備船者ヲシテ滅失品禁制品等ニ代フルニ他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ許ストモ利アリテ害アラサルナリ若シ此場合カ一部備船ノ場合又ハ箇箇ノ運送品ノ場合ナルニ於テハ他ノ運送品ヲ船積スルカ爲メニ他ノ備船者又ハ荷送人ニ對シテ航海ノ運延ヲ生スルコトアルヘシト雖モ此場合ニ於テハ全部備船ニシテ他ニ備船者又ハ荷送品存在セサルカ故ニ之カ爲メ此等ノ者ノ利益ヲ害スルコトアラサルナリ然レトモ備船者ハ他ノ運送品ヲ船積スルカ爲メニ最初締結シタル運送契約ニ因リテ生シタル船舶所有者ノ負擔ヲ加重スルコトハ許スヘカラサルナリ故ニ備船者ハ最初ノ契約ヨリ生スル船舶所有者ノ負擔ヲ重カラシメタル範圍内ニ於テ他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ得ルニ止メタリ此ノ如クシテ

備船者ニ他ノ運送品ノ船積ヲ許ストキハ獨リ其利益ナルノヨナラス亦船舶所有者ノ利益トモ爲ルヘシ何トナレハ運送品ノ一部カ滅失シ又ハ運送ヲ禁セラレタルトキハ船舶所有者ハ滅失シタル運送品又ハ運送ヲ禁セラレタルカ爲メニ陸揚シタル運送品發航前ノ場合ニ付テハ其運送貨ノ支拂ヲ受クルコトヲ得タルヲ以テ其殘存部分ノミヲ運送シタルトキハ之ニ對スル相當ノ運送貨ノ支拂ヲ受クルニ過キテレトモ備船者カ他ノ運送品ヲ船積セタルトキハ之ニ對スル運送貨ノ支拂ヲモ受クルコトヲ得ヘケレハナリ

備船者保護ノ爲メ右ノ如ク他ノ運送品船積ノ權利ヲ之ニ與ヘタル以上ハ備船者カ其權利ヲ行使スルニ付テハ運滞ナク舊運送品ヲ陸揚シテ新運送品ノ船積ヲ爲スコトヲ得ルハ至當ナリト然ラズンハ航海ハ運滞シ船舶所有者ハ之カ爲メ損失ヲ被ルニ至レハナリ故ニ此場合ニ於テ若シ其陸揚又ハ船積ヲ怠リタルトキハ運送貨ノ全額ヲ支拂フコトヲ要スル所以ハ契約當然ノ結果ナリ

○一部備船契約又ハ箇箇ノ運送品ノ運送契約ニ全部備船契約ニ於ケル契約ノ終了及ヒ其解除ニ關スル規定ノ準用——第六百十六條 第六百十三條及ヒ第六

百十四條ノ規定ハ船舶ノ一部又ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス第六百十三條第一項第二號及ヒ第六百十四條第一項ニ掲ケタル事由カ運送品ノ一部ニ付テ生シタルトキト雖モ備船者又ハ荷送人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但運送費ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス(獨商法第六四三條)

曩ニモ叙述シタルカ如ク備船契約カ當然終了スルコトヲ規定シタル第六百十三條及ヒ當事者雙方カ契約ノ解除權ヲ有スルコトヲ規定シタル第六百十四條ハ孰レモ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ノミニ適用セラルルカ故ニ若シ此規定ノミナルトキハ船舶ノ一部又ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニハ適用セラレサルナリ然ルニ船舶ノ一部又ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テモ亦(一)船舶カ沈没シタルトキ(二)船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ(三)船舶カ捕獲セラレタルトキ(四)運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ノ如ク契約カ當然終了スルモノトスルハ固ヨリ

當然ナリ又航海又ハ運送カ法令ニ反スルニ至リタルトキ其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキニ於テモ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ノ如ク各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルモノトスルハ是レ亦當然ナリ是ヲ以テ船舶ノ一部又ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於ケル契約ノ終了及ヒ其解除ニ關スル規定ヲ準用スルコトト爲シタル所以ナリ

船舶ノ一部又ハ箇箇ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テモ運送品ノ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失シ又ハ其航海又ハ運送カ法令ニ反スルニ至リタルトキ其他不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキハ全部備船ノ場合ノ如ク備船者又ハ荷送人ヲシテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得セシメサルヘカラス然レトモ此場合ニ於テハ全部備船ノ場合ト異ナリテ他ノ備船者又ハ荷送人アルカ故ニ他ノ運送品ヲ以テ滅失シタル運送品ニ代フルコトヲ許ササルナリ若シ此場合ニ於テ全部備船ノ場合ノ如

○他ノ運送品ヲ積積スルコトヲ得セシムルコトトスルトキハ航海ヲ遲延シ他ノ備船者又ハ荷送人ノ利益ヲ害スルコトアルヘキヲ以テ同一ノ保護ヲ與ヘサル所以ナリ而シテ備船者又ハ荷送人カ此場合ニ於テ契約ノ解除ヲ爲スニハ運送貨ノ全部ヲ支拂ハサルヘカラス

○船舶所有者カ運送ノ目的ヲ達セスシテ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ヘキ場合——第六百十七條 船舶所有者ハ左ノ場合ニ於テハ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

一 船長カ第五百六十八條第一項ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ賣却又ハ質入シタルトキ

二 船長カ第五百七十二條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ航海ノ用ニ供シタルトキ
三 船長カ第六百四十一條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ處分シタルトキ(舊商法第九一—二條佛商法第二九八條第三〇一條獨商法第六一九條)

船舶所有者カ完全ニ運送ヲ終了シタルトキ契約ノ運送貨全額ヲ請求スルハ是レ契約當然ノ結果ナルカ故ニ別ニ明文ヲ以テ規定ヲ設クル必要ナシ之ニ反シ

テ船舶所有者カ備船者又ハ荷送人ノ爲メニ運送ノ目的ヲ達セザルトキ換言スレハ船舶所有者カ運送ヲ約シタル運送品ヲ到達港マテ運送セザルニ拘ラス其運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ルハ是レ契約ノ當然ノ結果ニ非スシテ法ノ明文ヲ待チテ然ルモノナルカ故ニ法律ハ本條ニ其場合ヲ規定シタリ而シテ其場合三アリ即チ左ノ如シ

(一) 船長カ第五百六十八條第一項ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ賣却又ハ質入シタルトキ 舊ニ第五百六十八條ニ付キ叙述シタルカ如ク船長ハ船舶ノ修繕救援又ハ救助ノ費用其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メニハ積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ質入スルコトヲ得ルモノニシテ此場合ニ於テ船舶所有者ハ安價ニ賣却若クハ質入シタルニ拘ラス備船者又ハ荷送人ニ對シテハ損害賠償トシテ其到着スヘカリシ時ニ於ケル陸揚港ノ價格ヲ支拂フヘク而シテ其價格中ニハ運送貨ヲモ包含セルヲ以テ此場合ニ於ケル備船者又ハ荷送人カ運送貨ノ全額ヲ支拂ハサルコトトスルトキハ之カ爲メ運送貨ニ付テハ不當ノ利得ヲ爲スニ至ルヘシ若シ最初ノ損害賠償額中ヨリ積荷ノ到達港マテノ運送貨

ヲ控除セシニ於テハ此場合ニ於テ船舶所有者ハ運送貨ノ支拂ヲ受ケサルモ損失ヲ受タルコトナシト雖モ最初ノ損害額ニハ賣却又ハ質入シタル積荷ニ付キ到達港マテノ運送貨ヲ支拂ヒタルモノトシテ計算シアルヲ以テ此場合ニ於テ船舶所有者カ運送貨全額ノ支拂ヲ受ケサルトキハ其丈ノ損失ヲ受クヘケレハナリ

(二) 船長カ第五百七十二條ノ規定ニ從ヒ積荷ヲ航海ノ用ニ供シタルトキ 船長ハ航海ヲ繼續スル爲メ必要ナルトキハ第五百七十二條ノ規定ニ從ヒ積荷ヲ航海ノ用ニ供スルコトヲ得ルモノニシテ此場合ニ於テハ積荷ヲ賣却又ハ質入シタル場合ト同シク船舶所有者ハ備船者又ハ荷送人ニ對シテ積荷ノ到着スヘカリシ時ニ於ケル陸揚港ノ價格ヲ賠償スヘキカ故ニ此場合ニ於テ運送貨ノ全額ノ支拂ヲ受タルハ至當ニシテ其理由ハ前ノ場合ニ同シキナリ

(三) 船長カ第六百四十一條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ處分シタルトキ 此第三ノ場合ハ共同海損ノ場合ナリ共同海損トハ船長カ船舶及ヒ積荷ヲシテ共同ノ危険ヲ免レシムル爲メ船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニ因リテ生シタル損害及

ヒ費用(第六四一條)ニシテ共同海損ハ之ニ因リテ保存スルコトヲ得タル船舶又ハ積荷ノ價格ト運送貨ノ半額ト共同海損タル損害ノ額トノ割合ニ應ジテ各利害關係人ノ之ヲ分擔スヘキモノ(第六四二條)タリ而シテ共同海損ノ場合ニ於テ船長ハ備船者又ハ荷送人ノ意思ニ拘ラス運送品ヲ處分シ換言スレハ船長ノ行爲ニ因リテ運送ノ目的ヲ達スルコトヲ得ザラシメタルモノナレハ此場合ニ於テ備船者又ハ荷送人ハ運送貨支拂ノ義務ナキモノノ如シト雖モ然レトモ備船者又ハ荷送人ハ積荷ヲ喪失シタルモ之カ爲メ第六百四十七條ニ依リ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル價格ノ(但シ關稅陸揚費等ヲ除ク)全額ヲ其損害額トシテ評定セラレルカ故ニ備船者又ハ荷送人カ得ヘキ海損ノ賠償額中ニハ運送貨ヲ包含スルヲ以テ若シ此場合ニ於テ船舶所有者カ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得サルモノトスルトキハ備船者又ハ荷送人ハ積荷ヲ喪失シテ却テ不當ノ利得ヲ爲シ之ニ反シテ船舶所有者ハ過失ナキニ拘ラス獨リ運送貨ノ損失ヲ爲スニ至ルヲ以テナリ

○ 備船者荷送人又ハ荷受人ニ對スル債權ノ時效——第六百十八條 船舶所有者

ノ備船者荷送人又ハ荷受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因
 リテ消滅ス(舊商法第九七六條、獨商法第九〇九條)
 商法上ノ債權ニ對スル時効ハ商業ハ迅速ヲ主トスルモノナルカ故ニ一般ニ民
 法上ノ時効ニ比スレハ頗ル短ケレトモ海商中各節下ニ規定セル債權ハ商法中
 他ノ債權ヨリ一層短期ナル時効ニ因リテ消滅スルモノトス是レ蓋シ海上貿易
 ニ關スル債權ハ他ノ債權ヨリ一層迅速ニ其關係ヲ結了スヘキ必要アルヲ以テ
 ナリ

○船舶所有者ノ責任ニ對スル時効 船舶所有者ノ責任ニ對シテハ第六百十九
 條ノ規定ニ依リ第三百二十八條ニ規定スル運送取扱人ノ責任ニ對スル時効ヲ
 準用ス第三百二十八條ノ規定ニ從ヘハ運送取扱人ノ責任ハ荷受人カ運送品ヲ
 受取リタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スルモノニシテ
 船舶所有者ノ責任モ亦之ト同シク荷受人カ運送品ヲ受取リタル日ヨリ一年ヲ
 經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スルモノトス而シテ右一年ノ期間ハ運送
 品ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ其引渡アルヘカリシ日ヨリ起算スルコトモ亦運

送取扱人ノ責任ニ關スル規定ニ準スルモノトス
 ○運送品ノ滅失シタル場合ニ於ケル運送貨ノ請求權 運送品カ不可抗力ニ因
 リテ滅失シ又ハ其性質若クハ瑕疵又ハ荷送人ノ過失ニ因リテ滅失シタル場合
 ニ於ケル運送貨ノ請求權ニ付テハ第六百十九條ニ依リ物品運送ニ關スル第三
 百三十六條ノ規定ヲ準用スルコトト爲シタリ舊商法第九百十二條第九百十三
 條佛蘭西商法第三百二條、獨逸商法第六百十八條、第三百三十六條ノ規定ニ從
 フトキハ運送品ノ全部又ハ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人
 ハ其運送貨ヲ請求スルコトヲ得ス若シ運送人カ既ニ其運送貨ノ全部又ハ一部
 ヲ受取リタルトキハ之ヲ返還スルコトヲ要ス然レトモ運送品ノ全部又ハ一部
 カ其性質若クハ瑕疵又ハ荷送人ノ過失ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ運
 送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ルヲ以テ船舶所有者モ亦之ト同シク運送品カ
 不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ其運送貨ヲ請求スルコトヲ得サルナリ而
 シテ既ニ前以テ其運送貨ヲ受取レル場合ニ於テハ之ヲ受取ルノ原因ナキニ至
 リタルヲ以テ之ヲ返還セサルヘカラス然レトモ運送品カ其性質若クハ瑕疵又

ハ荷送人ノ過失ニ因リテ消滅シタルトキハ普通ノ運送人ト同シク船舶所有者
 ハ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ヘシ此規定ハ既ニ第六百十三條ニ於テ詳
 説シタルハ今復タ茲ニ叙述セザルナリ
 ○運送品ノ滅失毀損又ハ延著ニ對スル船舶所有者ノ責任 第六百十九條ノ規
 定ニ依リ運送品ノ滅失毀損又ハ延著ニ對スル普通運送人ノ責任ニ關スル第三
 百三十七條ノ規定ヲ船舶所有者ニ準用スルコトトシタリ右第三百三十七條ニ
 依レハ運送人ハ自己若クハ運送取扱人又ハ其使用人其他運送ノ爲メ使用シタ
 ル者カ運送品ノ受取引渡保管及ヒ運送ニ關シ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明ス
 ルニ非サレハ運送品ノ滅失毀損又ハ延著ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ
 得タルヲ以テ船舶所有者モ亦右ノ如キ證明ヲ爲ササルニ於テハ同一ノ責ヲ免
 ルルコトヲ得ス(舊商法第四九三條第二項第五〇四條獨商法第六〇七條)
 船舶所有者ハ運送品ノ保管者タリ之ヲ運送シテ荷受人ニ引渡スヘキ請負人
 タルヘキ者ニシテ船舶所有者ヲシテ成ルヘク嚴重ニ運送ヲ執行スヘキ義務
 ヲ負擔セシムル所以ノモノハ其營業トシテ營ム所ノ運送業務上ノ利益及ヒ

其事情ニ於テ然ルヘキ理由アルカ爲メナリ而シテ船舶所有者ハ其委託ヲ受ケ
 タル運送品ノ保人ト同視シ期日ニ運延セス且ツ運送品ヲ正當ニ引渡スヘキ
 責任ヲ之ニ負擔セシメ運送品ヲ受取リテヨリ之ヲ引渡スマタノ間ニ於テ之カ
 毀損滅失等アルトキハ船舶所有者ハ自己又ハ其使用スル者カ運送品ノ取扱保
 管及ヒ受渡等ニ付キ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明スル責任アリ此場合ニ於テ
 ハ備船者又ハ荷送人ハ運送品ヲ引渡シタルコトト荷受ノ際其不足セルコト毀
 損セルコトノミヲ證明スレハ足ルモノニシテ備船者又ハ荷送人ヨリ船舶所有
 者又ハ其使用人ノ過失アルコトヲ立證スル責任アラサルナリ又運送品延著ノ
 場合モ亦同シキナリ是レ或ハ事機ニ依リ專有權ヲ有スルヲ通例トスル所ノ運
 送ノ常職ニ歸スルコトヲ得ヘク或ハ運送執行中運送人船舶所有者ヲ監督スル
 ノ途ナキカ爲メ若シ此ノ如キ責任ヲ負擔セシムルニ非サレハ百種ノ奸曲背信
 ノ念ヲ生スルノ憂アルニ歸スルヲ得ヘキナリ是ヲ以テ船舶所有者ハ委託ヲ受
 ケタル運送品ヲ毀損滅失スルコトナク期間内ニ陸揚ノ場所ニテ運送品ノ引渡
 ヲ爲ササルヘカラス之ヲ要スルニ運送ハ船舶所有者ノ一己ノ危險ヲ以テ之ヲ

爲スト云フモ可ナラン

○船舶所有者ノ高價品ニ對スル損害賠償ノ責任 貨幣、有價證券其他ノ高價品ニ付キ運送人カ任スル損害賠償ノ責ニ關スル規定ヲ船舶所有者ニ準用ス(第六一九條第三三、八條舊商法第五〇〇條、獨商法第六〇八條)

運送貨ハ容積又ハ重量ニ從ヒテ定ムルヲ通例トスレトモ容積又ハ重量同一ナリトモ又其價格ノ高キト否トニ因リテ異ナルコトアルモノニシテ金銀貨幣有價證券等ノ如キモノハ其運送貨一般ニ高價ナリ而シテ運送品ノ種類及ヒ價格ハ一方ニ於テハ運送貨ヲ定ムル爲メ必要アリ又他ノ一方ニ於テハ運送品ノ滅失毀損ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ爲ス場合ニ於テ其種類及ヒ價格ヲ標準ト爲スモノナレハ荷送人ハ運送ヲ委託スル際其種類及ヒ價格ヲ明告セザルヘカラス若シ荷送人カ其明告ヲ爲サザルトキハ船舶所有者ハ之カ損害賠償ノ責ニ任セザルモノトス是レ諸國立法例ノ認ムル所ナリ

○船舶所有者ノ連帶責任 數人相次テ運送ヲ爲ス場合ニ於テ各運送人カ運送品ノ滅失毀損又ハ延著ヨリ生スル損害賠償ニ付キ連帶責任ヲ負フヘキ第三百

三十九條ノ規定ハ之ヲ船舶所有者ニ準用ス(第六一九條舊商法第五〇五條、獨商法第四一條)

陸上運送ニ於テ數人ノ運送人カ相次テ運送ヲ爲スカ如ク海上ノ運送モ單ニ一ノ船舶ニ依ラスシテ所有者ノ異ナリタル數箇ノ船舶相次テ之ヲ爲スコトアリ此場合ニ於テハ陸上ニ於ケル各運送人カ運送品ノ滅失毀損又ハ延著ニ付キ連帶シテ責任ヲ負フト同シク各船舶所有者モ亦連帶責任ヲ負フモノトス而シテ數箇ノ船舶ニ依リテ運送品ヲ遞送スルニ當リ荷送人カ次ノ船舶所有者ト更ニ運送契約ヲ爲シ當初運送契約ヲ爲シタル船舶所有者ハ單ニ次ノ船舶ニ遞送ノ爲メ運送品ヲ引渡スノミニ義務ヲ負擔スルトキハ第一ノ船舶所有者ト第二ノ船舶所有者トノ間ニ連帶義務ヲ生スルコトナク此場合ニ於テハ第二ノ船舶所有者ノ義務ハ荷送人ト直接ニ取結ヒタル契約ヨリ生スルニ過キサルナリ今茲ニ説ク所ノ場合ハ右ノ如キ場合ニ非スシテ荷送人ハ唯一ノ船舶所有者ト運送契約ヲ爲シ其船舶所有者カ他ノ船舶所有者ヲシテ自己ニ次カシメ第二以下ノ船舶所有者ト荷送人トノ間ニ特別ナル契約ナキ場合はナリ

此義務ハ第一ノ船舶所有者ノ請負ヒタル運送ヲ以テ合一ノ義務ト視備船者荷送人又ハ荷受人ハ運送中孰レノ船舶ニ於テ運送品カ滅失毀損シタルカ又ハ孰レノ船舶所有者ノ行爲ニ因リ運送品カ延著タルカヲ詳悉スルコト能ハサルノ場合多キニ基ク所ナリ是ヲ以テ備船者荷受人又ハ荷送人ハ運送中運送品カ孰レノ部分ニ於テ滅失毀損シタルカ又孰レノ船舶所有者ノ行爲ニ因リ延著ノ原因ヲ生シタルカヲ證明スルコトヲ要セサルナリ

船舶所有者ノ此責任ハ運送ヲ爲シタル數人ノ船舶所有者相互ノ間ニ於テ會社ノ關係ヲ有シ損益ヲ共分スルノ有無ニ依リテ異ナルコトナク唯其請負ヲ爲シタル運送ノ合同一體タル性質ヨリ生スルナリ而シテ之カ爲メ要スル所ノ取引及ヒ計算ヲ相互ノ間ニ於テ處辨シ及ヒ其相互拂戻ノコトヲ定ムルカ如キハ船舶所有者間相互ノ關係ニ屬スルニ過キサルモノニシテ之カ爲メ備船者荷送人又ハ荷受人ニ對スル責任ノ變更スルコトアラサルナリ而シテ船舶所有者ノ責任ヲ運帶トスルハ其負擔ヲシテ重大ナラシメ酷ニ失スル恐ナキニ非スト雖モ之カ爲メ備船者荷送人及ヒ荷受人ノ權利ハ大ニ安全タルヘシ若シ法律カ此場

合ニ運帶責任ヲ認メサルトキハ備船者荷送人及ヒ荷受人ノ船舶所有者ニ對スル權利ハ唯虛名タルニ止マリ其實ナキニ至ルヘシ

○運送品滅失ノ場合ニ於ケル損害賠償額 運送品カ全部滅失シタル場合ニ於ケル損害ノ賠償額ハ其引渡アルヘカリシ日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ定メ若シ運送品ノ一部カ滅失又ハ毀損シタル場合ニ於テハ毀損賠償額ハ其引渡アリタル日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム而シテ運送品延著ノ場合ハ其引渡アルヘカリシ日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ損害賠償額ヲ定ムルモノトス(第六一九條第三四〇條舊商法第四九五條乃至第四九九條舊商法第六一二條第六一四條)

運送品カ滅失又ハ毀損シタルトキハ曩ニ叙述シタル如ク其運送貨ヲ支拂フコトヲ要セサルヲ以テ損害賠償額ヲ定ムルニ當リ其到達スヘカリシ日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依ルトキハ其價格中ニハ運送貨モ其他ノ費用ト共ニ關稅陸揚費等包含セルヲ以テ損害賠償額中ヨリ運送品滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂フコトヲ要セサル運送貨其他ノ費用ヲ控除セサルトキハ備船者荷送人又ハ荷受人ハ

其金額ニ付キ不當ノ利得ヲ爲スニ至ルヘシ故ニ此場合ニ於テハ之ヲ控除スルコトト爲シタリ

以上ハ船舶所有者カ損害ヲ賠償スヘキ普通ノ場合ナレドモ運送品カ船舶所有者ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ其損害賠償ノ程度ハ右ト同シカラサルナリ初ノ場合ニ於テハ實際船舶所有者ニ過失ナキコトモ有ル可ケレトモ船舶所有者ハ之ヲ證明スルコト能ハサルトキハ其責任ヲ負擔セサルヘカラサルモノニシテ此ノ如キ場合モ包含スルモノナレハ初ノ場合ハ船舶所有者ノ爲メ大ニ恕スヘキ所アルヲ以テ其賠償スヘキ損害額ヲ右ノ如ク制限シタレトモ後ノ場合即チ船舶所有者ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合ニ於テハ船舶所有者ヲ寬恕スヘキ理由毫モ存セサルヲ以テ損害賠償ニ關スル普通ノ原則ニ從ヒ一切ノ損害ヲ賠償スヘキモノトシタリ(第六一九條第三四一條)

○船舶所有者ノ責任ノ消滅 船舶所有者ノ責任ハ荷受人カ留保ヲ爲サスシテ運送品ヲ受取り且ツ運送貨其他ノ費用ヲ支拂ヒタルトキハ消滅ス但シ運送品ニ直チニ發見スルコト能ハサル毀損又ハ一部滅失アリタル場合ニ於テ荷受人カ引渡ノ日ヨリ二週間内ニ船舶所有者ニ對シテ其通知ヲ發シタルトキハ此限ニ在ラス而シテ此規定ハ船舶所有者ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セサルモノトス(第六一九條第三四八條佛商法第一〇五條獨商法第六一〇條)

此規定ハ荷受人ニ於テ運送品ヲ受取り且ツ運送貨其他ノ費用ヲ支拂ヒタルトキハ船舶所有者既ニ其義務ヲ完結シタルモノナリトスル法律上ノ推定ニ出ツルナリ然レトモ此推定ハ反證ヲ以テ打破スルコトヲ得ルモノナレハ荷受人ハ自己ノ利益ヲ保護スルカ爲メニ此推定ニ對シテ豫メ明カニ其權利ヲ留保セサルヘカラス若シ然ラサルトキハ此推定ハ確定スルモノニシテ後ニ至リテハ或例外ノ場合ヲ除クノ外ハ異議ヲ申立ツルトモ其效ナキナリ而シテ此規定ハ主トシテ船舶所有者ヲ保護スルカ爲メニ設ケラレタルモノナリ詳言スレハ船舶所有者ノ多數ノ荷受人ニ對スル地位ト船舶ハ及フヘキ丈ケ速ニ發着スルノ必要トニ在リ故ニ荷受人ハ運送品ノ毀損又ハ滅失ニ付テハ其之ヲ受取ル際直チニ異議ヲ申立テサルヘカラス是ヲ以テ荷受人ハ運送品受取ノ際直チニ其形狀

ヲ検査スルノ権利アリ而シテ荷受人カ運送品ヲ受取り運送貨ヲ支拂フト雖モ之ヲ受取ル際留保ヲ爲ストキハ後ニ至リテモ之ニ對スル其權利ヲ主張スルコトヲ得ルモノトセリ

荷受人又ハ荷送人カ船舶所有者ニ對シテ有スル右損害賠償ノ請求權ハ留保ヲ爲サスシテ運送品ヲ受取りタルトキニ消滅スルヲ原則トスレトモ此原則ニハ一ノ例外アリ即チ運送品引渡ノ際其毀損又ハ一部滅失ヲ直チニ發見スルコトヲ得サルコトアリ又其際事實上留保ヲ爲スヲ得サルコトアリ然ルニ事實上ノ不能ヲ以テ荷受人ノ利益ヲ減殺スルハ苛酷ニシテ船舶所有者ヲ保護スルノ厚キニ失スルモノト云フヘシ故ニ此ノ如キ場合ニ留保ヲ爲サスシテ運送品ヲ受取り且ツ運送貨其他ノ費用ヲ支拂ヒタルノ故ヲ以テ運送契約ノ完全ナル履行アリタルコトヲ認メタルモノト看做スコトヲ得サルヘシ是ヲ以テ此場合ヲ例外ト爲セタリ然レトモ此場合ニ於テモ船舶所有者ノ責任ハ或場合惡意ノ場合ヲ除クノ外ハ際限ナク存セシムヘキモノニ非サルヲ以テ荷受人ニ對シテハ運送品ニ直チニ發見スルコト能ハサル毀損又ハ一部分滅失ナキヤ否ヤヲ検査ス

ルノ期間ヲ與フルヲ以テ足レルカ故ニ引渡アリタル日ヨリ二週間内ニ其通知ヲ爲ササルヘカラサルコトト爲シタリ

以上ハ船舶所有者ノ善意ノ場合ニ適用セラレル規定ナリ若シ船舶所有者ニシテ惡意ナルトキハ之ヲ善意ナル場合ト同視スルコト能ハサルコトハ言フヲ缺タス是ヲ以テ惡意ノ場合ニハ此規定ヲ適用セス普通ノ規定ニ依ルコトト爲シタリ

第二款 船荷證券

海上運送ノ船荷證券ニ於ケルハ猶ホ陸上運送ノ貨物引換證第三三三條ニ於ケルカ如ク其要トスル所ハ運送品ニ對スル受取書タルニ在リ然レトモ此受取書ハ流通證券ノ働ヲ爲スモノニシテ普通ノ受取書ト同視スヘキモノニ非ス即チ此船荷證券ハ之ニ記載スル所ノ運送品ヲ引渡シタル證據ト爲リ且ツ此證券ヲ賣買スルトキハ恰モ運送品其物ヲ賣買シタルト同一ノ效果ヲ生スルモノナレハ證券中記載スヘキ條件ハ實ニ運送品ヲ明示スルニ足ルヘキモノタラサルヲ

得ス

○船荷證券ノ作成 第六百二十條 船長ハ備船者又ハ荷送人ノ請求ニ因リ運送品ノ船積後運滞ナク一通又ハ數通ノ船荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス(舊商法第八九九條、佛商法第二八二條、獨商法第六四四條)

舊商法ニ於テハ船荷證券ハ當事者ノ作成スヘキモノト爲シタレトモ本法ハ商事契約ニハ形式ヲ要セザルヲ以テ原則ト爲シタルカ故ニ船荷證券モ之ヲ作成スルト否トハ一ニ當事者ノ請求ニ任シタリ是ヲ以テ其請求ナクハ必スシモ常ニ發行スルコトヲ要セザルナリ

船荷證券ハ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合タルト又ハ簡筒ノ運送品ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合タルトヲ問ハス備船者又ハ荷送人ノ請求ニ因リ發行スルモノトセリ而シテ其數ニ付テハ一通ニ限ルコトナク備船者又ハ荷送人ノ請求アルニ於テハ船長ハ之カ數通ヲモ交付セザルヘカラス其數通ヲ發行スルハ猶ホ爲替證書其他ノ流通證券ノ如ク融通ノ具タルヲ以テ當事者ノ便宜ヲ圖リタルニ出テタルナリ或ハ其一通カ紛失シテ

ル場合ニ他ノ證券ヲ以テ運送品ヲ受取ルコトヲ得ヘク又數通アルトキハ同時ニ之カ買受人ヲ諸所ニ求ムルコトヲ得ヘシ

第五百九十條ノ規定ニ依レハ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ各當事者ハ其相手方ニ對シテ運送契約書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲セルカ故ニ備船者ハ其規定ニ從ヒテ運送契約書ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テモ尙ホ船荷證券ノ交付ヲ受クルコトヲ得クシテ船荷證券ノ發行ハ運送契約書ノ發行アリタレト否トヲ問ハサルナリ

船長ハ陸揚港ニ於テ船荷證券ノ所持人ニ對シテ運送品ヲ引渡ササル可カラサルモノナルカ故ニ船荷證券ハ運送品ノ船積後ニ發行スルコトヲ要スルモノニシテ其發行ノ時間ハ舊商法ノ如キハ船積後二十四時内ニ之ヲ爲スコトヲ要スルモノトシタレトモ或ハ二十四時間ヨリ短キ時間内ニ於テ發行スルコトヲ望ム者アル可ク又或ハ數多ノ運送品ノ船積アリシ場合ノ如キハ二十四時間内ニ發行スルコト能ハサル場合モアルヘシ故ニ其發行ヲ二十四時間ニ限ルトスルハ不便多カルヘキモノトシ本法ニ於テハ船積後運滞ナク發行スヘキモノト爲シ

タル所以ナリ

○備船者又ハ荷送人ノ署名アル船荷證券ノ原本ヲ請求スル船長ノ權利——第六百二十三條 備船者又ハ荷送人ハ船長又ハ之ニ代ハル者ノ請求ニ因リ船荷證券ノ原本ニ署名シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス(舊商法第八九九條第二項獨商法第六四四條第三項)

船長カ運送契約及ヒ積荷ニ關スル書類ヲ船中ニ備ヘ置クヲ要スルコトハ第五百六十二條ニ規定スル所ナリ而シテ船荷證券ノ如キモ其一ニシテ船長ハ運送品ノ引渡其他ニ關シテ備船者又ハ荷送人ニ交付シタル船荷證券ト同一ナルモノヲ備ヘ置カサルヘカラス是ヲ以テ船長又ハ之ニ代ハル者ノ請求アルトキハ備船者又ハ荷送人ハ船荷證券ノ原本ニ署名シテ之ヲ交付スヘキコトトセリ而シテ此證券ハ素ト船長又ハ之ニ代ハル者ノ作成スルモノナルカ故ニ自己ノ作成シタルモノヲ自己ニ備ヘ置クハ證據上甚タ薄弱ナルヲ以テ其原本ニ契約ノ相手方ノ署名アルモノノ交付ヲ受クルコトト爲シタルナリ

○船荷證券ノ代理作成——第六百二十一條 船船所有者ハ船長以外ノ者ニ船長

ニ代ハリテ船荷證券ヲ交付スルコトヲ委任スルコトヲ得

舊商法第八百九十九條ハ船荷證券ヲ作成スヘキ者ヲ船長ニ限リタルトモ本法ハ便宜ヲ圖リテ船船所有者ハ船長以外ノ者ニ船長ニ代ハリテ船荷證券ヲ交付スルコトヲ委任シ得ルモノトセリ而シテ此規定ニ依リテ船長以外ノ者カ船荷證券ヲ作成シタルトキハ其者ハ船長ノ代理人タルナリ若シ舊商法ノ如ク船長ノ外ハ船荷證券ヲ作成スル權限ナキモノトスルトキハ大會社ノ如キ數多ノ運送契約ヲ一時ニ締結スルモノニ在リテハ不便ニ堪ヘサルヘキヲ以テ以上ノ如キ便宜ノ規定ヲ設ケタルナリ

○船荷證券ニ記載スヘキ事項——第六百二十二條 船荷證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ船長又ハ之ニ代ハル者署名スルコトヲ要ス

- 一 船舶ノ名稱及ヒ國籍
- 二 船長カ船荷證券ヲ作ラサルトキハ船長ノ氏名
- 三 運送品ノ種類重量若クハ容積及ヒ其荷造ノ種類箇數並ニ記號
- 四 備船者又ハ荷送人ノ氏名又ハ商號

五 荷受人ノ氏名若クハ商號又ハ所持人ニ運送品ヲ引渡スヘキコト

六 船積港

七 陸揚港但發航後備船者又ハ荷送人カ陸揚港ヲ指定スヘキトキハ其之ヲ

指定スヘキ港

八 運送貨

九 數通ノ船荷證券ヲ作リタルトキハ其員數

十 船荷證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日(舊商法第八九九條佛商法第二二

二條獨商法第六四五條)

海上運送ニ用フル船荷證券ハ陸上運送ニ於ケル貨物引換證(Third Party Receipt)第三三三條下同シキモノニシテ佛蘭西商法第二二二條並ニ之ニ模倣シタル他國ノ法律ニ於テハ船積シタル運送品ニ對スル船長ノ積荷受取證(On receipt)ト稱ス獨逸商法第六四四條及ヒ英國ノ法律ニ於テハ假受取證ト稱ス而シテ船荷證券ハ純然タル船長ノ受取證ニ非スシテ備船者又ハ荷送人ノ陳述ヲ包含シ備船者又ハ荷送人ハ船長ノ請求アルトキハ其謄本ニ署名シテ之ヲ交付スヘキモノ

ニシテ其要ハ一ニシテ足ラス今之ヲ舉クレハ(一)船荷證券ハ爭アル場合ニ於テハ運送品ノ船積セラレタルコトノ證據ト爲ルヘシ(二)船荷證券ハ之ヲ發スルニ先テ備船契約アリタルコトノ證據ト爲リ又證據方法トシテ運送契約書ヲ補足ス但シ運送契約書ハ全部又ハ一部ノ備船ノ場合ニ非サレハ作成セラレルコトナシ第五九〇條(三)船荷證券ヲ所持スル者ハ之ニ記載スル運送品ヲ船長ヨリ受取ルコトノ權利ヲ有シ其運送品ヲ處分シ又ハ其運送品ト同シク證券自身ヲモ融通ノ具トシテ讓渡スコトヲ得ヘキナリ

船荷證券ニ記載スヘキ事項ハ各國ノ法律ニ於テモ之ヲ規定スルカ故ニ本法ニ於テモ之ニ倣ヒタリ何トナレハ船荷證券ハ流通ノ具トシテ之ニ記載スル運送品ヲ代表スヘケレハナリ是レ其記載ヲ當事者ノ隨意ニ放任スルコト能ハサル所以ナリ

今船荷證券ニ記載スヘキ事項中二三ノモノニ付キ説明ヲ與ヘン第二號ニ船長カ船荷證券ヲ作ラサルトキハ船長ノ氏名ヲ記載スルコトヲ要スルハ他ナシ前條ニ於テ船長以外ノ者ニ船荷證券發行ノ權ヲ與ヘタルカ故ニ船長以外ノ者カ

之ヲ作成シタルトキハ船長ノ氏名ハ記載セラレサルコトト爲ルヲ以テ特ニ船長ノ氏名ヲ記載スルコトト爲シタルナリ

第五號ニ所持人ニ運送品ヲ引渡スヘキコトアルハ是レ暗ニ船荷證券ハ無記名式ニテ發行スルコトヲ得ヘキ旨ヲ示シタルモノニシテ船荷證券ヲ無記名式ニ發行シタルトキハ之ヲ所持スル者ハ何人ニテモ船長ヨリ運送品ヲ受取ルコトヲ得ヘキナリ而シテ又船荷證券ニハ第六百二十九條ノ規定ニ從ヒ爲替手形ノ裏書ニ關スル第四百五十五條ヲ準用スルカ故ニ法定ノ指圖證券ト爲レルヲ以テ特ニ發行者カ裏書讓渡ヲ禁スル旨ヲ記シタル場合ノ外ハ裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ得ヘキナリ

第七號ニ陸揚港但發航後備船者又ハ荷送人カ陸揚港ヲ指定スヘキトキハ其之ヲ指定スヘキ港トアルハ備船者又ハ荷送人ハ最初ヨリ運送品ノ陸揚港ヲ指定セシテ之ヲ船積シ船積ノ發航後ニ於テ其陸揚港ヲ指定スルカ如キ契約ヲ爲スハ當事者ノ自由ニ屬セシメタリ例ヘハ橫濱ヨリ上海ヲ經テ香港ニ航行スル船舶ニ運送品ヲ船積シ上海又ハ香港ノ中孰レカ最も相場ノ好ナル港ニ於テ

之ヲ賣捌カントスルカ如キ場合ニ於テハ發航前豫メ其陸揚港ヲ指定スルコト能ハサルカ故ニ發航後ニ至リ備船者又ハ荷送人ヲシテ之ヲ指定セシムル方商業上便利多キヲ以テ發航後ノ指定ヲ許シ此但書ヲ加ヘタルナリ

運送契約ハ此船荷證券ヲ俟テ始メテ成立スルモノニ非ス是レ恰モ運送契約書ヲ作ラスシテ備船契約ヲ爲スコトヲ得ルカ如ク船荷證券ヲ作ラサルトモ運送契約ヲ爲スコトヲ得ルモノニシテ此點ヨリ云ヘハ船荷證券ハ契約ヲ證スルノ具タルニ過キサレハ之ヲ作ラサルトキト雖モ他ノ證據ヲ以テ其實實ヲ證明スルニ於テハ毫モ契約ノ效力ヲ減殺スルモノニ非サルナリ

船荷證券モ運送契約書ノ如ク印刷シタル用紙ヲ用ヒ法律上ノ要件ノ外契約當事者ノ權利義務ニ關スル細條ヲ之ニ掲グルコト多シ

○ 船荷證券ニ對スル船長ノ權利義務

(一) 第六百二十四條 陸揚港ニ於テハ船長ハ數通ノ船荷證券中ノ一通ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキト雖モ其引渡ヲ拒ムコトヲ得ス(商法第六百四七條)

法律ハ船荷證券ヲ數通發行スルコトヲ許シタルヲ以テ數人ノ者各別ニ之ヲ所持シテ船長ニ對シ運送品ノ引渡ヲ請求スルコトアリ而シテ法律ハ之ヲ陸揚港ニ於ケル場合ト陸揚港以外ニ於ケル場合トニ依リ區別セリ即チ本條ハ陸揚港ニ於ケル場合ヲ規定シ次條ハ陸揚港以外ニ於ケル場合ヲ規定セリ

陸揚港ニ於テハ船長ハ數通ノ船荷證券中ノ一通ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキハ其各通ノ返還ヲ受ケサルトモ其引渡ヲ拒ムコトヲ得サルモノトセリ法律カ數通ノ船荷證券ノ發行ヲ許シタル目的ハ既ニ說キタルカ如クニシテ同一ノ運送品ニ對シテ其各通カ同一ノ效力ヲ有スルモノニ非ス其數通ノ船荷證券ハ唯一ノ運送品ヲ代表スルノミ故ニ數通ノ船荷證券ヲ數人ノ者カ所持スルト雖モ船長ハ其各所持人ニ對シテ運送品ヲ引渡スヘキ義務アルモノニ非サルコトハ猶ホ爲替手形ヲ數通發行シタル場合ト同一ナリ第五二〇條而シテ陸揚港ハ運送品ヲ引渡スヘキ普通ノ場所ナルカ故ニ縱令數通ノ中通一通ノ船荷證券ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求セタルトキハ他ノ者ヨリ他ノ各通ノ船荷證券ヲ以テ同一ノ引渡ヲ請求ヲ受クヘキ虞アルニ拘ラス之カ引渡ヲ爲サザ

ルヘカラス是レ船荷證券ヲ數通發行シタル場合ニ於テハ其各通ハ單獨ノ船荷證券ノ用ヲ爲スヘキモノナルヲ以テナリ故ニ船荷證券ヲ數通發行シタルトキハ陸揚港ニ於テハ他ニ先チテ最モ早ク運送品ノ引渡ヲ請求シタル者カ最モ利益ヲ享クヘキナリ而シテ其證券面ノ一通ニ付キ引渡ヲ爲セハ他ノ各通ハ其效力ヲ失フヘキ旨ノ記載アルト否トヲ問ハサルナリ然レトモ若シ其船荷證券面ニ各通ヲ合シテ所持セサルトキハ運送品ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得サル旨ヲ記載シアル場合ニ於テハ其證券面ノ記載ニ從ハサルヘカラサルモノニシテ單ニ其中一通ヲ所持スルトモ運送品ノ引渡ヲ爲スコトヲ要セサルハ論ヲ埃タサルナリ

(二)第六百二十五條 陸揚港外ニ於テハ船長ハ船荷證券ノ各通ノ返還ヲ受クルニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ得ス(商法第六六一條)

陸揚港以外ハ普通運送品ヲ引渡スヘキ所ニ非ス故ニ若シ其陸揚港ニ非サル場所ニ於テ單ニ船荷證券一通ヲ所持シタル者ニ運送品ヲ引渡スコトトスルトキハ陸揚港ニ於テ其他ノ船荷證券ヲ持參シテ運送品ノ引渡ヲ請求スル者ナシト

セス而シテ其場所コソ運送品ヲ引渡スヘキ所ナルヲ以テ或ハ他ノ正當ノ荷受人ノ權利ヲ害スルヤモ知ルヘカラス是ヲ以テ法律ハ此場合ニ於テハ發行シタル總テノ船荷證券ヲ返還スルニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ得サルモノトセリ此ノ如クスルトキハ運送品ノ引渡ヲ受クヘキ正當ノ權利ナキ者カ其引渡ヲ受ケ又ハ其正當ノ權利アル者カ之カ引渡ヲ受ケサルカ如キ弊ヲ防クニ至ルヘシ

(三)第六百二十六條 二人以上ノ船荷證券所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキハ船長ハ運滞ナク運送品ヲ供託シ且請求ヲ爲シタル各所持人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス船長カ第六百二十四條ノ規定ニ依リテ運送品ノ一部ヲ引渡シタル後他ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタル場合ニ於テ其殘部ニ付キ亦同シ(舊商法第九〇二條後段、獨商法第六四八條)

以上叙述シタル所ハ船荷證券ヲ所持スル者一人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタル場合ナレトモ二人以上ノ船荷證券ノ所持人カ同時ニ若クハ相前後シテ運送品ノ引渡ヲ請求スルコトアリ而シテ其一部タリトモ既ニ引渡シタル場合ニ於テ

其引渡カ右ニ叙述シタル第六百二十四條ノ規定陸揚港ニ於テニ從ヘルトキハ船長ハ其部分ニ對シテハ既ニ其責任ヲ脱セリ然レトモ全部ノ引渡前ナルカ又ハ一部分ハ引渡シタルモ尙ホ殘存スルモノアルトキハ船長ハ之ヲ何人ニ引渡スヘキヤ船長ハ船荷證券ノ所持者中何人カ正當ノ荷受人ナルヤヲ知ルコトヲ得ス故ニ此場合ニ於テハ船長ハ運滞ナク運送品ヲ供託シ且ツ引渡ノ請求ヲ爲シタル船荷證券ノ各所持人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要スルモノトシタリ若シ此場合ニ運送品ノ供託ヲ爲スコトヲ得ルモノトセザルトキハ船舶所有者ハ運送品引渡ノ期ヲ運延シ其間空シク之ヲ保管セザルヘカラサルモノニシテ之カ爲メニ損害ヲ被ルコト尠ナラサルヘシ故ニ之ヲ避ケシムルカ爲メニ右ノ規定ヲ設ケタリ而シテ船荷證券ノ所持人ハ其孰レカ正當ナルヤハ其間ニ於テ決スヘク若シ之ヲ相互ノ間ニ於テ定ムルコト能ハザルトキハ裁判所ノ裁判ヲ受ケテ決スルヨリ外アラサルモノニシテ此ノ如キハ船舶所有者ノ關知スル所ニ非サルナリ

○船荷證券所持人間ノ關係

(一)第六百二十七條 二人以上ノ船荷證券所持人アル場合ニ於テ其一人カ他ノ所持人ニ先テ船長ヨリ運送品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ他ノ所持人ノ船荷證券ハ其效力ヲ失フ(獨商法第六五〇條)

前ニ叙述シタル所ハ船長ト船荷證券所持人間ニ關スル規定ナレトモ本條及ヒ次條ハ二人以上ノ船荷證券ノ所持人アル場合ニ於テ其間ノ關係ヲ規定セルナリ

數通ノ船荷證券ヲ發行シ二人以上ノ者カ別別ニ之ヲ所持スル場合ニ於テ其證券ハ皆效力ヲ有スルモノニ非ス其中一通ヨリ外效力ヲ有セサルヲ以テ其中孰レカ有效ノモノナルヤヲ定メサルヘカラス法律ハ此場合ニ於テ船荷證券所持人ノ一人カ他ノ所持人ニ先テ船長ヨリ運送品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ他ノ所持人ノ船荷證券ハ其效力ヲ失フコトトセリ例ヘハ乙ハ甲ナル原所持人ヨリ三月中イ號ナル船荷證券ヲ買受ケ丙ハ同シク甲ヨリ同一ノ運送品ニ對シ四月申コ號ナル船荷證券ヲ買受ケタリ而シテ丙カ其證券ヲ持參シテ船長ヨリ既ニ運送品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ乙カ甲ヨリ買受ケタル日ハ以前ナリト雖モ乙

ノ所持スル船荷證券ハ最早效力ヲ有スルモノニ非ス蓋シ船荷證券ヲ流通ノ用ニ供スル以上ハ一通ノ所持人カ第六百二十四條ノ規定ニ從ヒテ請求ヲ爲シ運送品ノ引渡ヲ受ケレハ其引渡タルヤ有效ニシテ物上ノ權利ハ其者ニ移ルヘシ故ニ之カ爲メニ他ノ所持人ノ船荷證券カ其效力ヲ失フト爲スハ實際上便利ニシテ且ツ已ムヲ得サル所ナリ此場合ニ於テ乙ハ唯自己ニ船荷證券ヲ賣渡シタル甲ニ對シテ損害賠償ノ請求ヲ爲スヨリ外アラサルナリ

(二)第六百二十八條 二人以上ノ船荷證券所持人アル場合ニ於テ船長カ未タ運送品ノ引渡ヲ爲ササルトキハ原所持人カ最モ先ニ發送シ又ハ引渡シタル證券ヲ所持スル者他ノ所持人ニ先テ其權利ヲ行フ(獨商法第六五一條)

前條ハ一通ノ船荷證券ニ依リテ其所持人カ既ニ運送品ノ引渡ヲ受ケタル場合ニ關スレトモ本條ハ運送品ノ未タ何人ニモ引渡サレサル場合ヲ規定シタルナリ運送品カ未タ引渡サレサル場合ハ前條ノ場合ト異ナリ原所持人カ最モ先ニ發送シ又ハ引渡シタル證券ヲ所持スル者ノ權利ハ後ニ發送ヲ受ケ又ハ引渡ヲ受ケタル所持人ノ權利ニ優ルコトトセリ例ヘハ前ニ舉ケタル乙ハ丙ヨリ一箇

月前ニ在リテ原所持人タル甲ヨリ船荷證券ヲ買受ケタルヲ以テ船長カ第六百二十六條ノ規定ニ從ヒ供託シタル運送品ニ對シテ權利ヲ有スルナリ是レ原所持人甲カ既ニ他人乙ニ一通ノ船荷證券ヲ讓渡シ自己ニ權利ヲ有セサルニ當リ復タ之ヲ他人丙ニ讓渡ストキハ其讓渡ハ法律上無効ナリトノ理由ニ出テタル規定ナリ此場合ニ於テハ丙ハ自己ニ船荷證券ヲ賣渡シタル甲ニ對シテ損害賠償ヲ請求スルヨリ外アラサルナリ而シテ乙丙兩者ノ間ノ權利ノ優劣ヲ決スルハ以上ノ如クナラサルヘカラサレトモ前條ノ場合ニ於テハ船長ハ正當ノ所持人ヲ調査スルニ由ナク又之カ責任ナキカ故ニ先ニ持參シタル者ヲ以テ正當ノ所持人ト看做スハ已ムヲ得サルナリ

此規定ハ獨リ船荷證券ノ讓渡ノ場合ニ限ラス其他原所持人カ質權ヲ設定シタルカ如キ場合ニモ廣ク適用セラルルモノトス

○一般ノ運送營業ノ物品運送爲替手形ノ裏書及ヒ其支拂ニ關スル規定ノ準用

第六百二十九條 第三百三十四條第三百三十五條第四百五十五條及ヒ第四百八十三條ノ規定ハ船荷證券ニ之ヲ準用ス

(一) 第三百三十四條ハ一般ノ物品運送ニ付キ貨物引換證ヲ作りタルトキハ運送ニ關スル事項ハ運送人ト所持人トノ間ニ於テハ貨物引換證ノ定ムル所ニ依ル規定ナリ蓋シ船荷證券發行ノ主タル目的ハ流通ニ在ルカ故ニ其記載ヲ一見シ之ヲ信用シテ買賣其他ノ取引ヲ爲スモノニシテ運送ニ關スル事項例ヘハ運送貨陸揚ニ關スル事等ニ付キ船舶所有者ト荷受人トノ間ノ關係ハ一般ノ物品運送ニ關スル貨物引換證ノ如ク一ニ船荷證券ノ定ムル所ニ依ラサルヘカラス然ラスンハ船荷證券ハ竟ニ能ク其目的ヲ達スルコト能ハサルナリ而シテ此ノ如キ規定ハ船荷證券カ當事者間ニ於テ運送契約ニ關スル證據タルニ過キザルニ於テハ別ニ之ヲ設タルノ必要ナシト雖モ船荷證券ハ獨リ之ヲ作りタル當事者間ニ於テノミ用ヲ爲スニ非ス流通シテ最初之ヲ作成セシメタル備船者又ハ荷送人ノ手ヲ離レテ最初ノ契約ニ干與セサル者ノ手ニ移轉シ其證書ニ關シテ爭ノ生スルハ其所持人ト船舶所有者ノ間ニ在ルコト多キカ故ニ此規定ヲ設ケ運送ニ關スル事項ニ付テハ最初契約ニ干與セサル者ヲモ此船荷證券面ニ定メタル所ニ從ハシムルコトト爲シタルナリ然レトモ船荷證券ニ記載スル事項ハ船

船所有者ト荷受人トノ間ニ在リテモ必スシモ悉ク有效ナリト云フヘカラス即チ第五百九十二條ノ規定ノ如ク公益ノ理由ニ依リ契約ノ自由ノ制限ヲ受ケタルモノアリ此ノ如キ制限ニハ從ハサル旨ヲ縱令證券面ニ特約シアリト雖モ其特約ハ證券ノ所持人ニ對シテモ同ク效力ヲ有セサルヤ論ヲ埃タサルナリ(舊商法第九〇一條、獨商法第六五三條)

(二) 第三百三十五條ハ一般ノ物品運送ニ付キ裏書ニ依リテ貨物引換證ヲ讓渡シタルトキハ運送品ノ讓渡ト同一ノ效力ヲ有スル旨ヲ規定シタルモノニシテ據ニモ叙述シタルカ如ク海上運送ニ於ケル船荷證券ハ陸上運送ニ於ケル貨物引換證ニ類スルカ故ニ右ノ規定ヲ茲ニ準用スルコトトシタリ即チ裏書ニ依リテ船荷證券ヲ讓渡シタルトキハ裏書ニ依リテ貨物引換證ヲ讓渡シタル場合ノ如ク運送品ノ讓渡ト同一ノ效力ヲ有スルモノトス此船荷證券ノ裏書讓渡カ物權的ノ效力ヲ生スルコトハ外國ノ法律ニ於テモ一般ニ認メラルル所ニシテ船荷證券ヲ發行スル主タル目的カ流通ニ在リト云フモ即チ之カ爲メナリ若シ其讓渡ニシテ單ニ債權讓渡ノ效力ヲ生スルニ過キササルモノトスルトキハ未タ以

テ荷受人ノ權利ヲ十分ニ保護スルニ足ラヌ加之其流通ヲ妨ケ荷受人ノ目的トスル所ニモ反スヘキカ故ニ法律ハ其裏書ニ物權的ノ效力ヲ生スヘキモノト爲シ裏書ニ依リテ此證券ヲ讓受ケタルトキハ運送品其物ヲ讓受ケタルモノト看做シタルナリ

(三) 第四百五十五條ハ爲替手形ノ裏書ニ關スルモノニシテ爲替手形ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得但シ振出人カ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラサル旨ヲ規定シタルモノナリ船荷證券モ爲替手形ノ如ク流通證券ナルカ故ニ無記名式ノモノナルトキハ交付ノミニ依リテ讓渡シ記名式ノモノナルトキト雖モ其發行者ニ於テ裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ禁セサル以上ハ指圖式ノモノト同シク裏書ニ依リテ讓渡スコトヲ得ルモノトセリ此ノ如クスルトキハ船荷證券ハ一般ノ流通ヲ助ケ其所持人ノ便利ヲ増スニ至ルヘシ然レトモ商品以外ノ運送品ヲ船荷證券ノ目的ト爲シタル場合ノ如キ固ヨリ當事者カ裏書讓渡ノ禁止ヲ爲スコトハ其自由タルナリ(舊商法第八九九條第三項、獨商法第六四六條)

(四) 第四百八十三條ハ爲替手形ノ支拂ニ關スルモノニシテ支拂ハ爲替手形ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セス又支拂ヲ爲ス者ハ所持人ヲシテ爲替手形ニ其支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且ツ之ニ署名セシムルコトヲ得ヘキ旨ヲ規定セリ爲替手形ノ如ク船荷證券ヲ法定ノ指圖證券ト爲シ其讓渡ハ物權的ノ效力ヲ生スルモノト爲シ其債權ハ證券ト共ニ發生シ亦其證券ト共ニ消滅スルモノナルカ故ニ爲替手形ノ支拂ニ關スル規定ヲ茲ニ準用スルコトト爲シタル所以ナリ若シ茲ニ此ノ如キ規定ヲ設クスシテ運送品ノ引渡ヲ普通債權ノ辨濟ノ如ク船荷證券ト引換フルコトヲ要セス之カ引渡ヲ受タルモ其船荷證券ヲ船長ニ返還セスシテ之ニ運送品ノ受取書ヲ交付スルヲ以テ足ルコトトスルトキハ船荷證券ノ所持人ハ運送品ノ引渡ヲ受ケタルニ拘ラス其證券ノ自己ノ手ニ依然存在スルヲ奇貨トシ裏書ヲ以テ之ヲ他ニ讓渡ストキハ船舶所有者ハ其所持人ヨリ之ヲ以テ再度運送品ノ引渡ノ請求ヲ受クヘキ虞アリ而シテ船舶所有者ハ第六百二十四條ノ規定ニ依リ數通ノ船荷證券中ノ一通ノ所持人ニ運送品ヲ引渡シタルトキハ其證券ニ付テハ既に其責任ヲ免レ再ヒ運送品ヲ引渡ス

コトヲ要セザレトモ運送品引渡後ニ裏書ニ依リテ讓受ケタル其所持人ハ效力トキ證券ヲ讓受ケタルモノニシテ損害ヲ受クルコト尠ナラサルヘシ故ニ運送品ヲ引渡シタルトキハ船荷證券ヲ取戻スコトト爲シタリ而シテ又船長カ船荷證券ヲ取戻シタリトモ果シテ運送品ヲ引渡シタルヤ否ヤハ疑ハシキコトナキニ非ス故ニ後日ノ證據ノ爲メニ其證券面ニ荷受人ヲシテ運送品ヲ受取リタル旨ヲ記載セシメ且ツ之ニ署名セシムルコトト爲シタル所以ナリ(獨商法第六五三條)

第二節 旅客運送

旅客運送トハ物品運送ニ對スルモノニシテ船舶ニ依リテ人ヲ運送スルヲ謂フ船舶ハ物品ノミヲ運送スルモノアリ或ハ人ノミヲ運送スルモノアリ或ハ物品ト人トヲ併セ運送スルモノアリ物品運送ニ付テハ曩ニ之ヲ詳説シタリ而シテ物品及ヒ人ヲ運送スル場合ト人ノミヲ運送スル場合トヲ問ハス其人ニ關スル運送ハ本節ノ規定ノ適用ヲ受クヘキナリ

○乗船切符—第六百三十條—記名ノ乗船切符ハ之ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得ス
(舊商法第九一八條、獨商法第六五條)

旅客運送契約ニ付テハ物品運送ニ於ケル船荷證券ノ如ク法律ヲ以テ一定ノ書式ヲ定ムルノ必要ナク唯之ヲ當事者ノ作成スル所ニ任シタルモノニシテ乗船切符ハ或ハ之ヲ記名トスルアリ或ハ之ヲ無記名トスルアリ而シテ其無記名ノ切符ニ付テハ法律ハ別ニ其讓渡ヲ許スコトヲ明言セザレトモ法律カ本條ニ於テ記名ノ切符ノミノ讓渡ヲ禁止スル旨ヲ規定シタル所ヲ以テ見レハ其裏面ニ於テ無記名ノ切符ハ自由ニ讓渡スコトヲ得ルモノト云ハサルヘカラス之ニ反シテ記名ノ切符ハ之ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得サルモノトス是レ他ナシ宛名ヲ記シタル契約證書ハ其發行人ニ於テ其名宛人ニ對シテ契約ヲ履行スヘキ旨ヲ表示シタルモノナレハ其書面外ノ者ニ於テ其發行人ニ對シテ之カ履行ヲ求ムルトモ發行人ハ固ヨリ之ニ應スヘキ義務ナケレハナリ是ヲ以テ右ノ如ク規定セタリ

○旅客ノ食料—第六百三十一條—旅客ノ航海中ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔ト

ス舊商法第九二六條

航海中ノ旅客ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔ナルカ將タ旅客ノ自辨ナルカハ法律ニ於テ之ヲ規定セサルトキハ爭ノ生スルコトアルヘキヲ以テ之カ規定ヲ設ケ食料ハ船舶所有者ノ負擔ト爲シタリ是レ從來一般ノ慣習ニモ存スル所ナリ然レトモ或外國船カ先年神戸横濱間ニ於テ旅客ノ運送ヲ爲シタル際旅客ノ食料ヲ船舶所有者ノ負擔トセザリシ例アリタリ

此規定ハ船舶所有者ニ於テ旅客ノ食料ヲ負擔セサル慣習アル場合又ハ特約ヲ以テ旅客ノ自辨若クハ借船者ノ負擔ト爲シタル場合ニ於テハ其慣習又ハ特約ニ從フヘキヤ論ヲ據タザルナリ

○手荷物ノ運送賃—第六百三十二條—旅客カ契約ニ依リ船中ニ攜帶スルコトヲ得ル手荷物ニ付テハ船舶所有者ハ特約アルニ非サレハ別ニ運送賃ヲ請求スルコトヲ得ス(舊商法第九二七條、獨商法第六七三條)

旅客カ契約ニ依リテ船中ニ攜帶スルコトヲ得ル手荷物トハ例ヘハ運送會社ノ規則ニ於テ上等船客ハ一人ニ付キ何斤下等船客ハ一人ニ付キ何斤ノ手荷物ヲ

無賃ニテ携帶スルコトヲ許スカ如キ是ナリ而シテ其運送賃ハ既ニ旅客ノ運送賃中ニ包含スルモノナレハ別ニ特約ナキニ於テハ船舶所有者ハ之カ運送賃ヲ請求スルコトヲ得サルモノトセリ是レ一般ニ認メラレタル慣習ナリ然レトモ其手荷物ニハ或制限アルヲ以テ若シ旅客カ携帶シタル手荷物ニシテ其制限ニ超過シタルトキハ其部分ハ則チ無賃ニテ携帶スルコトヲ許ササルモノナレハ相當ノ運送賃ノ支拂ヲ爲ササルヘカラサルヤ論ヲ俟タサルナリ

○旅客カ發航ノ時期ニ乗込マサル場合ニ於ケル船長ノ權利及ヒ運送賃全額ヲ支拂フヘキ旅客ノ義務——第六百三十三條 旅客カ乗船時期マテニ船舶ニ乗込マサルトキハ船長ハ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコトヲ得此場合ニ於テハ旅客ハ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

旅客カ發航ノ時期マテニ乗船セス又ハ船舶カ航海ノ途中寄港シタルトキ上陸シ發航ノ際乘リ後レタル場合ハ恰モ箇箇ノ運送品ノ荷送人カ其船積ヲ忘リタルトキ船長ハ之ニ拘ラス發航ヲ爲スコトヲ得テ荷送人ハ其運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ義務アルト同シク第六〇二條此場合ニ於テ船長ハ旅客ノ乗船ヲ待タ

スシテ發航ヲ爲スコトヲ得而シテ旅客ハ運送賃ノ全額ヲ支拂ハサルヘカラス蓋シ旅客カ契約ヲ締結スル所以ハ一定ノ時間内ニ一定ノ港ニ到着セントラ欲スレハナリ然ルニ一旅客カ發航ノ際又ハ寄港ノ際ニ於テ乗船期間内ニ乗込マサルカ爲メニ航海ヲ運送セサルヘカラサルニ於テハ他ノ旅客ハ迷惑ヲ被ルコト尠ナラサルヘシ是ヲ以テ船長ハ乗船期間後ハ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコトヲ得ルモノト爲セリ而シテ船舶ノ全部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ノ如キハ備船者カ船積期間内ニ運送品ノ船積ヲ爲サザリシトキハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做サレ備船者ハ運送賃ノ半額ヲ支拂フヲ以テ足レトモ(第五九八條)旅客ノ乗込ハ物品ノ船積ノ如ク別ニ手數ヲ要スルモノニ非スシテ船舶カ既ニ運轉ヲ始メタルトキト雖モ仍ホ或ハ乗込ムコトヲ得ヘキ程ナレハ其發航マテニ乗込マザリシトテ必スシモ解約セシモノト看做スコトヲ得ス故ニ船長ハ其空室アルニ拘ラス更ニ他人ト契約スルコトヲ得サルヲ以テ其乗船セザリシ場合ト雖モ船舶所有者ノ計算ハ殆ト乗船シタル場合ニ異ナルコトナシ是ヲ以テ運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキコトト爲シタリ

○旅客ノ契約ノ解除權 第六百三十四條 發航前ニ於テハ旅客ハ運送貨ノ半額ヲ支拂ヒテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得發航後ニ於テハ旅客ハ運送貨ノ全額ヲ支拂フニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス(舊商法第九二二條第一號第九二三條第一號獨商法第六六八條)

旅客ニハ物品運送契約ノ場合ト同シク契約ノ解除ヲ爲スコトヲ許ササルヘカラス而シテ舊商法(第九二二條第九二三條)ハ其解除ノ請求ニ付キ種種其事由ヲ區別スト雖モ解除請求ノ事由ニ付キ之ヲ區別スルコトハ頗ル難事ニ屬スルカ故ニ本法ニ於テハ全ク其事由ヲ區別セズ唯發航ノ前後ニ依リテ支拂フヘキ運送貨ノ額ニ付キ區別ヲ爲シタリ即チ旅客カ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲ストキハ運送貨ノ半額ヲ支拂ハサルヘカラス蓋シ船舶所有者ハ旅客ノ爲メ種種ノ準備ヲ爲スヘシト雖モ發航前ニ於テハ尙ホ他ニ旅客ヲ求メテ其船舶ニ乗込マシムルノ餘裕アルヘキカ故ニ法律ハ運送貨ノ半額ヲ支拂フトキハ以テ船舶所有者ノ損害ヲ補償スルニ足ルモノトシ旅客カ此金額ヲ支拂フトキハ解約ヲ爲スコトヲ得ルモノトセリ而シテ此場合ハ船舶全部ノ備船者カ發航前ニ契約ノ解除

ヲ爲ス場合(第五九八條第一項)酷似セリ外國ノ立法例ニハ旅客カ此解除ヲ爲ス爲メニ豫告期間ヲ設ケタルモノアリト雖モ本法ニハ別ニ此ノ如キ規定ヲ設ケナリシカ故ニ發航前ナレハ其日ト雖モ解約ヲ爲スコトヲ得ルモノトス然レトモ旅客カ發航後ニ契約ノ解除ヲ爲ストキハ船舶所有者ハ之カ爲メ空室ヲ生シタリトモ更ニ他人ト契約ヲ爲シ之ヲ利用スルコトヲ得サルヲ以テ此場合ニ於テハ旅客ハ運送貨ノ全額ヲ支拂フヘキコトト爲シタリ此場合ハ船舶全部ノ備船者カ發航後ニ於テ契約ノ解除ヲ爲ス場合ニ運送貨ノ全額ヲ支拂フヘキト異ナルコトナキナリ(第六〇〇條)

○旅客ノ一身上ノ不可抗力ニ原因シテ解約スル場合ニ於ケル運送貨 第六百三十五條 旅客カ發航前ニ死亡、疾病其他一身ニ關スル不可抗力ニ因リテ航海ヲ爲スコト不能ハサルニ至リタルトキハ船舶所有者ハ運送貨ノ四分ノ一ヲ請求スルコトヲ得前項ニ掲ケタル事由カ發航後ニ生シタルトキハ船舶所有者ハ其選擇ニ從ヒ運送貨ノ四分ノ一ヲ請求セ又ハ運送ノ割合ニ應シテ運送貨ヲ請求スルコトヲ得舊商法第九二二條第二號第九二三條第三號獨商法第六六八條

前條ハ旅客カ其都合ニ依リテ契約ヲ解除スル場合ニシテ其原因ハ旅客ノ一身
上ノ不可抗力ニ關係ナキ場合ヲ規定シタレトモ本條ハ契約ノ解除カ旅客ノ一
身上ノ不可抗力ニ關スル場合ナリ旅客ノ死亡疾病其他一身ニ關スル不可抗力
ハ縱令旅客ノ一身ニ關スル原因ナリトハ云ヘ不可抗力ハ則チ不可抗力ニシテ
已ムヲ得ス航海ヲ爲スコト能ハサルニ至リタサルモノナレハ之ニ契約ノ解除
ヲ許スハ勿論ナレトモ旅客ノ支拂フヘキ運送貨ノ額ヲ已ムヲ得サルニ非スレ
テ自己ノ都合ニ因リ解約ヲ爲ス前ノ場合ト同シウスヘキモノニ非ス是ヲ以テ
此場合ハ彼ノ場合ヨリ減額シ四分ノ一ヲ支拂ヘハ足ルモノトセリ
此場合ニ於テモ右ノ事由カ發航前ニ生シタル場合ト其後ニ生シタル場合トニ
依リテ區別ヲ爲セリ發航前ニ於テハ右ノ如ク旅客ハ單ニ運送貨ノ四分ノ一ヲ
支拂フニ過キスト雖モ若シ右ノ原因ニシテ發航後ニ生シタルトキハ船舶所有
者ハ其選擇ニ從ヒ運送貨ノ四分ノ一ヲ請求シ又ハ運送ノ割合ニ應シテ運送貨
ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲セリ蓋シ發航後ニ於テハ以上ノ原因カ或ハ短
距離航海シタルトキニ生スルコトアリ或ハ將ニ到着港ニ到着セントスル頃ニ

生スルコトアリ若シ其原因ニシテ過半航海シタル後ニ生シタル場合ニテモ發
航前ニ生シタル場合ト同シク運送貨ノ四分ノ一ヨリ多ク請求スルコトヲ得ザ
ルモノトスルトキハ前ノ場合ト權衡ヲ失シ船舶所有者ノ損失ト爲ルヲ以テ此
場合ニ於テハ船舶所有者ニ右ノ如ク選擇權ヲ與ヘ航海ノ割合ニ應シテモ運送
貨ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲シタル所以ナリ

○航海ノ途中船舶ヲ修繕スヘキトキ住居及ヒ食料ノ給與——第六百三十六條
航海ノ途中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキトキハ船舶所有者ハ其修繕中旅客ニ相當
ノ住居及ヒ食料ヲ供スルコトヲ要ス但旅客ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ他
ノ船舶ヲ以テ上陸港マテ旅客ヲ運送スルコトヲ提供シタルトキハ此限ニ在ラ
ス舊商法第九二四條第九二五條、獨商法第六七二條、
航海ノ途中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキ場合ニ旅客ヲ上陸セシムヘキ必要ノ生シ
タルトキハ船舶所有者ハ其修繕中旅客ニ相當ノ住居及ヒ食料ヲ供スヘキ義務
アリ是レ船舶所有者ノ當然ノ義務ナリ然レトモ船長ハ航海中船舶ヲ修繕スヘ
キトキハ備船者又ハ荷送人ノ權利ヲ害セサル限りハ運送品ヲ他船ニ積換ヘ運

送ノ目的ヲ達スルコトヲ得ル(第五六五條)ト同シク旅客運送ノ場合ニ於テモ船
 舶ヲ修繕スルトキハ旅客ノ權利ヲ害セサル限リハ例ヘハ船體速力等其船ニ劣
 ラサルカ如キ他船ニ旅客ヲ乗換ヘシメテ航海ノ目的ヲ達セシメントスルトキ
 ハ旅客ハ之ヲ拒ムコトヲ得ザルナリ而シテ此ノ如クシテ船長カ他ノ代用船ヲ
 以テ旅客ヲ運送セントスルトキハ旅客ハ最初ノ船舶ニ在ルト同様ナレハ仍ホ
 陸上ニ留マリテ住居及ヒ食料ノ供給ヲ請求スルコトヲ得ザルモノトス

○旅客運送契約ノ終了 第六百三十七條 旅客運送契約ハ第五百八十七條第
 一項ニ掲ケタル事由ニ因リテ終了ス若シ其事由カ航海中ニ生シタルトキハ旅
 客ハ運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ支拂フコトヲ要ス(舊商法第九二二條第四號、
 第九二二三條第三號、獨商法第六六九條第六七一條)

旅客運送契約ハ第一、船舶カ沈没シタルトキ第二、船舶カ修繕スルコト能ハサル
 ニ至リタルトキ第三、船舶カ捕獲セラレタルトキハ終了ス而シテ此等ノ事由カ
 發航前ニ生シタルトキハ旅客ハ運送賃ヲ支拂フコトヲ要セス然レトモ若シ其
 事由カ航海中ニ生シタルトキハ旅客ハ運送ノ割合ニ應シテ運送賃ヲ支拂ハズ

ルヘカラス此場合ハ物品運送ノ場合ト同シキモノニシテ其理由ニ至リテモ異
 ナル所ナキナリ

○死亡シタル旅客ノ手荷物 第六百三十八條 旅客カ死亡シタルトキハ船長
 ハ最モ其相續人ノ利益ニ適スヘキ方法ニ依リテ其船中ニ在ル手荷物ノ處分ヲ
 爲スコトヲ要ス(舊商法第九二八條、獨商法第六七六條)

船長ハ積荷トシテ旅客ヨリ受取リタル荷物ニ付テハ一般ノ受寄者ノ責任ヲ負
 フヲ以テ其場合ニ於テハ固ヨリ之ヲ保管スル義務アルノミナラス縱令旅客カ
 船室内ニ持込ミタル手荷物ト雖モ其旅客ノ死亡シタル場合ニ在リテハ船長ニ
 於テ適當ニ之ヲ處分スルノ義務アリ但シ之カ爲メニ必要ノ費用ヲ生シタルト
 キハ其相續人ニ於テ之ヲ支拂ハサルヘカラサルコトハ論ヲ俟タサルナリ

○陸上ノ旅客運送ニ關スル規定ヲ海上ノ旅客運送ニ準用スル場合 第六百三
 十九條 第三百五十條、第三百五十一條第一項、第三百五十二條……ノ規定ハ海上
 ノ旅客運送ニ之ヲ準用ス(舊商法第九二九條、獨商法第六七四條)

(一) 第三百五十條ハ陸上ノ旅客運送ニ付キ旅客ノ運送人ハ自己又ハ其使用人

カ運送ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ旅客カ運送ノ爲メニ受ケタル損害ヲ賠償スル責ヲ免ルルコトヲ得ヌ又其損害賠償ノ額ヲ定ムルニ付テハ裁判所ハ被害者及ヒ其家族ノ情況ヲ斟酌スルコトヲ要スル旨ヲ規定シタルモノニシテ此點ニ付テハ陸上ノ旅客運送ト海上ノ旅客運送ト其規定ヲ異ニスヘキ理ナキヲ以テ陸上ノ旅客運送ニ關スル右ノ規定ヲ茲ニ準用スルコトト爲シタルナリ(舊商法第五一七條此規定ハ運送取扱營業ニ關スル第三百二十二條一般ノ物品運送ニ關スル第三百三十七條ト其趣旨ヲ同シスルモノニシテ此場合ハ人ノ生命健康ニ關係ヲ有スルカ故ニ船舶所有者ハ管ニ一般爲スヘキ注意ニ止マラス其力ノ及フ丈ケノ注意ヲ盡スヘキモノナルコトハ法律ノ明文ヲ埃タスシテ明カナリ

此場合ニ於ケル舉證ノ責任ハ曩ニ物品運送ニ關シ第六百十九條ニ付キ叙述シタルカ如ク旅客ニ在ラスシテ船舶所有者ニ在リ何トナレハ罹災者ハ其陳述ヲ爲シ難キ場合アリ或ハ其業ニ通セス或ハ現狀ヲ知ラサルカ爲メニ災害ノ眞實ノ事由ヲ判斷スルノ力ナキヲ多シトスレハナリ故ニ此ノ如キ災害ノ爲メニ被

告ト爲リタル船舶所有者ニシテ其災害ノ事由カ旅客ノ過失偶然ノ事變又ハ不可抗力ニ出ラタルコトヲ證明スルヲ得サルトキハ旅客ニ對シテ其損害ヲ賠償セタルヘカラス而シテ罹災ノ事由ハ其種類甚タ多シト雖モ概シテ運送執行ノ其當ヲ得サルニ基クモノニシテ其運送執行ノ當否ヲ了知シ又ハ豫メ之ヲ檢査スルコトハ旅客ニ望ムヘキコトニ非ス是レ汽船ノ如キ複雜シタル機關ノ取扱ニ付テハ殊ニ然リトス之ヲ要スルニ船舶ヲ以テ運送營業ヲ爲スニ付テハ百般ノ注意及ヒ必要ノ知識伎倆アルヲ要シ荷モ此業ヲ營ム者ハ其責ニ任セサルヘカラス唯其責ヲ免ルルハ偶然ニ發シ又ハ避クヘカラサル災難ニ限ル何トナレハ旅客ハ獨斷ノ能力ヲ備ヘ身體ノ自由ヲ有スルモノナレハ物品ノ如ク船舶所有者ノ隨意處分ニ放任スヘキモノニ非サレハナリ故ニ旅客ハ此範圍内ニ於ケル災難ニ付テハ自ラ其責ニ任セサルヘカラス

(二) 第三百五十一條第一項ハ陸上ノ旅客運送ニ付キ旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケタル手荷物ニ付テハ特ニ運送ヲ請求セサルトキト雖モ物品ノ運送人ト同一ノ責任ヲ負フ旨ヲ規定シタルモノニシテ海上ノ旅客運送モ亦此規定

ニ從ハシムルヲ當然ナリトスルカ故ニ茲ニ之ヲ準用スルコトト爲シタリ即チ旅客カ其手荷物ヲ船長ニ保管セシメ上陸港ニ於テ之ヲ引渡サシムルトキハ其運送費ヲ支拂フヘキ場合タルト否トヲ問ハス手荷物ハ運送品ト同一ニ論スヘキモノニシテ此場合ニ於テ船舶所有者ハ運送品ニ於ケルト同一ノ責ニ任スルモノトス(舊商法第五二〇條)

(三) 第三百五十二條ハ陸上ノ旅客運送ニ付キ旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケサル手荷物ノ滅失又ハ毀損ニ付テハ自己又ハ其使用人ニ過失アル場合ヲ除ク外損害賠償ノ責ニ任セサル旨ヲ規定シタルモノニシテ海上ノ旅客運送ニモ此規定ニ依ラシムルヲ相當トシ茲ニ之ヲ準用スルコトト爲シタリ(舊商法第五二一條)

旅客ノ手荷物ノ滅失毀損ニ於ケル舉證ノ責任ニ付テハ法律ハ旅客カ船長ニ手荷物ヲ引渡シタル場合ト然ラサル場合トニ依リテ異ニセリ旅客カ船長ニ引渡シタル手荷物カ滅失毀損シタルトキハ右(二)號第三五一條ニ付キ叙述シタルカ如ク旅客ハ船長又ハ其使用人ノ過失ニ原因シタルコトヲ證明スルヲ要セス旅

客ハ唯其手荷物カ滅失又ハ毀損シタルコトヲ證明スルヲ以テ足り船舶所有者ハ船長又ハ其使用人ニ過失ナキコトヲ證明セサルヘカラサルナリ之ニ反シテ旅客カ船長ニ引渡ササル手荷物ノ滅失毀損シタルトキハ旅客ニ於テ船長又ハ其使用人ノ過失ニ依リタルコトヲ證明セサルヘカラス旅客カ船中ニ在リテ所持セル手荷物ハ自身ニ監守セルモノナレハ其手荷物ニシテ滅失毀損スルハ旅客自身ノ監守宜キヲ得サルニ基クテ通例トスルヲ以テ此場合ニ於テハ普通ノ原則ニ從フヘキモノトシ損害賠償ノ請求ヲ爲ス旅客ヨリ手荷物ノ滅失毀損ノ船舶所有者ノ過失ニ因ルコトヲ證明セサルヘカラサルモノト爲シタル所以ナリ

○海上ノ物品運送ニ關スル規定ヲ其旅客運送ニ準用スル場合——第六百三十九條……………第五百九十一條第五百九十二條第六百十四條及ヒ第六百十八條ノ規定ハ海上ノ旅客運送ニ之ヲ準用ス(第五百九十三條及ヒ第六百十七條ノ規定ハ旅客ノ手荷物ニ之ヲ準用ス(舊商法第九二九條))

(一) 第五百九十一條ハ海上ノ物品運送ニ付キ船舶所有者ハ備船者又ハ荷送人ニ對シ發航ノ當時船舶カ安全ニ航海ヲ爲スニ堪フルコトヲ擔保スル旨ヲ規定

シタルモノナリ而シテ旅客ノ運送ハ人ノ生命及ヒ健康ニ關係ヲ有スルカ故ニ船舶所有者ハ物品ノ運送ニ於ケルヨリハ一層重大ナル責任ヲ負フヘキモノナレハ旅客運送ノ場合ニ船舶所有者カ物品運送ニ關スル右ノ擔保義務ヲ負フモノトスルハ固ヨリ當然ナリ

(二) 第五百九十二條ハ物品運送ニ付キ船舶所有者ハ特約ヲ爲シタルトキト雖モ自己ノ過失、船員其他ノ使用人ノ惡意若クハ重大ナル過失又ハ船舶カ航海ニ堪ヘサルニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ヲ免ルルコトヲ得サル旨ヲ規定シタルモノニシテ之ヲ旅客運送ニ準用スルコトトスルハ固ヨリ當然ナリ而シテ此規定ノ理由ハ曩ニ同條ニ付キ叙述シタルハ今茲ニ復説セサルナリ

(三) 第六百十四條ハ物品運送ニ付キ航海又ハ運送カ法令ニ反スルニ至リタルトキ其他ノ不可抗力ニ因リテ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキハ各當事者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得而シテ其事由カ發航後ニ生シタル場合ニ於テ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ備船者ハ運送ノ割合ニ應ヅテ運送貨ヲ支拂フコトヲ要スル旨ヲ規定シタルモノニシテ是レ亦旅客運送ニ準

用スルハ當然ナリ其理由ハ曩ニ説キタル所ニ同シ(獨商法第六七〇條)

(四) 第六百十八條ハ物品運送ニ付キ船舶所有者ノ備船者荷送人又ハ荷受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スル旨ヲ規定シタルモノニシテ之ト同シク船舶所有者ノ旅客ニ對スル債權モ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スルモノトス

(五) 第五百九十三條ハ物品運送ニ付キ法令ニ違反シ又ハ契約ニ依ラスシテ船舶積シタル運送品ハ船長ニ於テ何時ニテモ之ヲ陸揚シ若シ船舶又ハ積荷ニ危害ヲ及ホス虞アルトキハ之ヲ放棄スルコトヲ得但シ船長カ之ヲ運送スルトキハ其船積ノ地及ヒ時ニ於ケル同種ノ運送品ノ最高ノ運送貨ヲ請求スルコトヲ得而シテ此規定ハ船舶所有者其他ノ利害關係人カ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケサル旨ヲ規定シタルモノニシテ旅客カ法令ニ違反シ又ハ契約ニ依ラスシテ手荷物ヲ積積シタルトキハ此規定ニ從フコトトスルハ是レ亦當然ナリ

(六) 第六百十七條ハ物品運送ニ付キ船舶所有者カ一船長カ第五百六十八條第一項ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ賣却又ハ買入シタルトキ二船長カ第五百七十二條

ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ航海ノ用ニ供シタルトキ三船長カ第六百四十一條ノ規定ニ從ヒテ積荷ヲ處分シタルトキハ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得ル旨ヲ規定シタルモノニシテ此規定ヲ旅客ノ手荷物ニモ準用スルコトト爲シタルカ故ニ船長カ旅客ノ手荷物ヲ右ノ場合ノ如ク賣却買入シ航海ノ用ニ供シ又ハ處分シタルトキハ船舶所有者ハ運送貨ノ全額ヲ請求スルコトヲ得而シテ旅客ノ手荷物ニ付テハ船舶所有者ハ或ハ運送貨ヲ契約スルコトアルヘク或ハ全額運送貨ヲ契約セザルコトアルヘク其契約アルトキハ其全額ハ契約額ニ依ルヘント雖モ契約ナキトキト雖モ船舶所有者ハ運送貨ヲ契約シタルトキニ在リテ請求スルコトヲ得ヘカリシテ又ケノ運送貨額ヲ旅客ニ對シテ請求スルコトヲ得ヘキナリ何トナレハ雖モ叙述シタルカ如ク右ノ場合ニ於テ旅客カ賠償ヲ受クヘキ手荷物ノ價格中ニハ運送貨ヲモ包含シテ算定セラルヘケレハナ

○旅客運送ノ爲メニスル備船契約ニ物品運送ノ爲メニスル備船契約ニ關スル規定ノ準用——第六百四十條。旅客運送ヲ爲ス爲メ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ

シムルニ必要ナル以上ハ證人鑑定人ノ訊問等ノ如キ事實發見ニ必要ナル證據調ヲ爲ササルヘカラス(獨逸破産法第七十五條是レ獨逸ノ「コーレル氏カ當事者ニ對スル破産手續ハ審問的性質ヲ有スト云フ所以ナリ證據調ニ關シテハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス其第二ハ總テノ破産手續上ノ裁判ハ一方ニ於テハ裁判ノ基礎トシテ口頭辯論ヲ要セストノ消極的法則ニ支配セラレ又他ノ一方ニ於テハ裁判所カ裁判前ニ口頭辯論ヲ命スルコトヲ得ルノ積極的法則ニ支配セララルコト是ナリ此意味ニ於ケル口頭辯論ヲ學說上任意の口頭辯論ト稱シ其性質ハ審問的ニシテ義務的口頭辯論ニ於ケルカ如ク當事者カ裁判ノ基礎タル演述ヲ爲スカ爲メニ出頭スルノ形式ニアラス故ニ裁判所ハ該辯論ニ於テ爲シタル演述ノミヲ裁判ノ基礎ト爲サスシテ却テ記錄ニ存スル他ノ事項ヲ斟酌スルコトヲ得

破産手續ニ於ケル裁判ハ任意的口頭辯論ヲ經テ之ヲ爲スコトアレトモ義務的口頭辯論ヲ經テ之ヲ爲スコトナキヲ以テ其裁判ノ形式カ決定ニシテ判決ニアラサルコト疑ナシ隨テ判決ノミニ關スル民事訴訟法ノ法則ハ破産手續ニ適用

ナキヤ當然ナリ決定ハ之ヲ分テテ(1)争訟即チ利害關係人間若クハ裁判官ト申立人トノ間ニ於ケル争訟ヲ裁判スルモノト否ト(2)實體上若クハ訴訟上ノ權利ニ付キ裁判スルモノト法律ニ違背スルモノトナクシテ事物ノ性質ニ適セシムルカ爲メニ裁判スルモノト爲ス破産法ハ(1)ノ分類ニ基ク決定ヲ同等ニ取扱ヒ(2)ノ分類ニ基ク決定ヲ不同等ニ取扱ヒタリ實體上及ヒ訴訟上ノ權利ニ付キ爲シタル決定破産ノ宣告決議ニ對スル認可ノ類ニ對シテハ即時抗告ヲ認メ(第九七八條商法施行法第一三八條商法第一〇四〇條事物ノ性質ニ適スルカ爲メニシタル裁判ニ對シテハ不服ノ申立ヲ認メナリシ(第九八二條蓋シ後者裁判ハ裁判官ノ自由判斷ニ委セラレタレハナリ然レトモ法定ノ前提要件ヲ缺クコトヲ理由トシテ取消ヲ求ムルコトヲ得ルハ當然ナリ其第三ハ破産手續ニ於ケル裁判ノ形式ハ判決ニ非スシテ決定ナルヲ以テ其之ニ對スル不服申立ノ形式カ抗告ナルコトハ疑ナキ所ナリ而シテ破産法ハ唯即時抗告ナル不服申立方法ヲ認メタルノ(獨逸破産法第七三條第三項獨逸民事訴訟法第五七七條通常ノ抗告ハ破産法ニ基カスシテ却テ破産の訴訟ニ於テ生シタル裁判民事訴訟法第二九四條

第三〇二條、第三二八條等)ニ對シテ爲スコトヲ得ヘシ

抗告ヲ爲ス權利者ハ破産債權者團體管財人カ其機關トシテ抗告ヲ爲ス(各破産債權者破産債權者團體ニ附帶シテ自己ノ利益ヲ主張スルコトヲ得ル者管財人(報酬額決定ノ如キ自己固有ノ利益ニ關スルモノニ對シ)及ヒ破産者タリ蓋シ此等ハ裁判ニ付キ利害關係ヲ有スレハナリ申請却下ノ裁判ニ對シテハ唯申請者ノミカ利害關係者トシテ抗告ヲ爲スコトヲ得ルノミ

總テノ決定ハ判決ト同シク裁判所ヲ羈束スルモノニアラス抗告ヲ以テ攻撃スルコトヲ得ヘキ決定ハ假差押決定其他民事訴訟法第三十八條第八十條等ニ規定シタル決定裁判所ヲ羈束シ訴訟指揮ニ關スル決定(證據決定民事訴訟法第一百四十四條乃至第二百二十三條ニ規定シタル決定之ニ反ス蓋シ前者ノ決定ノ實體上及ヒ訴訟上ノ權利ニ付キ爲シタル裁判ナルヲ以テ裁判所カ抗告アリタルトキニ限り之ヲ變更スルコトヲ得ルハ民事訴訟法第四百五十九條ノ文意上明白ナリ後者ノ決定ハ裁判所ノ指揮權ニ屬スルモノナルヲ以テ該決定ノ目的物ハ未ダ中間判決若クハ一分判決ニ依リ終局セザル以上ハ有效ニ變更スルコトヲ得ヘ

ケレハナリ但シ訴訟指揮ニ關スル裁判ニ基キテ其取消以前ニ實施セラレタルモノノ效力殊ニ證據調ノ一部ノ如キハ爾後ノ取消ニ依リ效力ヲ失ハサルヤ當然ナリ此稿東力ニ關スル法則ハ破産手續ニ於ケル決定ニモ適用セラル即時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル破産裁判所ノ裁判ハ民事訴訟法第四百九十八條第一項ノ準用トシテ其不服申立ノ爲メニ規定セラレタル不變期間ヲ徒過シタルニ因リテ形式的確定力ヲ生ス該期間ハ總テ抗告權ヲ有スル利害關係人ニ對シテ進行スルモノタリ而シテ再審ノ訴ヲ提起スルヲ得ルコトカ判決ノ確定ニ影響ナキト同シク又再審ノ訴ニ付テノ要件ノ有スル場合ニ於テ認マラレタル抗告期間ノ擴張ハ決定ノ確定ニ影響ナシ商法施行條例第二四條商法施行法第一四七條民事訴訟法第四六六條

決定ノ形式的確定力ノ發生ハ適法ナル抗告ノ申立ニ因リテ遮斷セラル(民事訴訟法第四九八條第二項準用)又決定ハ其形式的確定ヲ要セスシテ執行ノ效力ヲ有スルヲ民事訴訟法上ノ原則トス(民事訴訟法第四六〇條)然レトモ商法施行條例第二十五條ニ依レハ民事訴訟法第四百六十條第一項及ヒ第二項ノ適用ヲ除外

シタルヲ以テ破産法ニ於ケル決定ハ未確定中ハ執行ノ效力ヲ有セサルヲ原則ト爲スニ似タリ(商法施行法第一四七條)故ニ特ニ破産ノ宣告ハ假執行ヲ爲スコトヲ得下規定シ(第九八一條)佛蘭西商法第四四〇條以テ債務者カ破産ノ宣言ノ未タ確定セサルヲ奇貨トシ財産ヲ隠匿シ或ハ甲債權者ヲ利シ乙債權者ヲ害スルカ如キ偏頗ノ行爲ヲ爲シ債權者ヲ害スルノ弊害ヲ防止シタリ立法論トシテハ民事訴訟法ト同一ノ原則ヲ認ムルヲ正當ト信ス抗告手續ニ關シテハ商法施行條例第二十五條商法施行法第四百七條及ヒ民事訴訟法第三編第三章ヲ參照スヘシ

其第四ハ不定多數ハ當事者ニ對スル決定殊ニ破産ノ宣告破産ノ終局債權届出期間債權調査期日(債權者集會期日)協諾契約期日等ニ關スル決定及ヒ命令主任官ノ指定スヘキ調査會若シハ集會ニ關スル期日ノ命令ハ之ヲ公告セサルヘカラサルコト是ナリ是レ蓋シ不定多數ノ當事者ニ送達ヲ爲スコト能ハサルヲ以テナリ第九八一條第九八二條第一〇四八條等故ニ公告ハ總テノ利害關係人ニ對シテ爲シタル送達ト同一ノ效力ヲ有ス但シ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ル裁判ハ

言渡シタルモノヲ除キ公告ノ外特ニ特定ノ當事者ニ送達シ以テ即時抗告ノ期間ヲ進行セシメサルヘカラス(商法施行法第一四七條商法施行條例第二四條公告ハ裁判所ノ揭示場並ニ破産者ノ營業場ニ帖附シ及ヒ其他ノ新聞紙ニ載セテ之ヲ爲ス(第九八一條)又公告ハ其手續ヲ盡シタルヨリ適當ノ時間ヲ經過シタル後ニ於テ其效力ヲ生ヌ獨逸破産法第七六條第一項ハ公告ヲ記載シタル官報ノ發兌後二日ヲ經過シタルトキニ於テ公告ノ效力ヲ生ヌト規定シタリ(獨逸舊破産法第六八條特定ノ當事者ニ對スル裁判ハ言渡シタルモノノ外之ヲ職權ヲ以テ送達ス(商法施行條例第二〇條第二四條商法施行法第一四七條民事訴訟法第二四五條獨逸破産法第七三條第三項故ニ破産宣告申立却下ノ決定協議契約ノ認可又ハ棄却ニ付テノ決定ノ如キモノハ之ヲ送達セサルヘカラス獨逸破産法ハ各裁判ハ縱令言渡シタルモノト雖モ職權ヲ以テ各利害關係人ニ送達スヘク且ツ裁判所ニ各利害關係人ニ對スル送達ニ代ヘテ公告ヲ選フ權能ヲ認メタリ又各利害關係人ニ特ニ知ラシムルカ爲メニ公告ニ附帶シテ送達ヲ爲スヘキ場合ヲ規定シタリ(獨逸破産法第一一條第三項第一七九條第一項)而シテ此場合ニ於テ

ハ公告ヲ以テ送達アリタルモノトシ特別ノ送達ヲ訓示的性質ヲ有スルニ過クサルモノト爲シタリ我商法ニ於テハ公告ト送達トノ關係甚タ曖昧ナルヲ以テ獨逸破産法ニ比シテ遜色アリト認ム 其間ハ破産人ハ其債權者ニ對シテ特別ノ第一ハ破産ノ開始手續第二ハ破産債權及ヒ破産財團ノ確定手續第三ハ破産ノ終局手續ナリ左ニ之ヲ分説スヘシ

第一節 破産ノ開始手續

破産手續ハ決定ノ形式ニ依レル破産ノ宣告ヲ以テ之ヲ開始ス破産手續ノ開始ニ斯ル決定ヲ要スル理由ハ蓋シ破産ハ前述ノ如ク一ノ強制執行ナルヲ以テ他ノ強制執行ニ於ケルト同シク債務名義ヲ必要トスルニ存ス此破産的執行名義ハ一般的ニ未確定ノ債權者ノ爲メニ存シ破産的差押ヲ正當ナラシムルニ止マル債權者ハ其權利ヲ届出テ之ヲ確定セシメ以テ特別ノ執行名義ヲ得ルニアラスンハ破産財團ノ配當ヲ受クルコトヲ得ス蓋シ若シ然ラスンハ大ニ危険ナレハナリ故ニ破産手續開始決定ハ配當スヘキ財團ノ保全名義ニシテ届出及ヒ確

定ノ手續ニ依レル特別執行名義ハ破産財團ノ配當ニ關與スル名義ナリト謂フコトヲ得

破産手續開始決定ハ單ニ執行名義タルノミナラス却テ同時ニ執行其モノタリ該決定ハ單ニ破産の差押ヲ正當ナラシムルノミナラス却テ一般のニ破産財團ニ屬スヘキ破産者ノ財産ヲ差押フルモノタリ抗告裁判所カ該決定ヲ廢棄シタルトキハ唯リ執行名義ノ廢棄アルノミナラス間接ニ差押ノ取消アリタルモノト謂ハサルヘカラス何トナレハ破産手續開始決定ハ執行名義及ヒ差押其モノノ二者ヲ包含スルヲ以テ其廢棄決定亦此兩者ノ取消ヲ包含スルヲ當然トスレハナリ而シテ破産の差押ノ取消ハ將來ニ向テ效力ヲ發生スルニ止マリ既往ニ向テ何等ノ效力ヲ發生セス破産手續開始決定カ其效力ヲ存スル時マテ破産の差押亦有效ニ其效力ヲ存ス

破産裁判所ハ支拂ヲ停止シタル商人ヲ其債權者又ハ本人ノ申立ニ因リ決定ヲ以テ破産者ト認定ス此認定ヲ破産ノ宣告ト稱ス(第九七八條) 商法施行法第一三八條第一項、英吉利破産法第二〇條、佛蘭西商法第四四〇條、奧地利破産法第五八

條乃至第六六條、獨逸破産法第一〇二條以下、左ニ破産宣告ノ要件其前手續破産宣告及ヒ申立ノ却下並ニ之ニ伴フ諸手續ヲ略述スヘシ

第一款 破産宣告ノ要件

破産宣告ノ要件ハ之ヲ分チテ債務者又ハ債權者ノ申立及ヒ商人ノ支拂停止破産宣告ノ原因ノ二トス

(一) 債務者又ハ債權者ノ申立 不告不理ハ裁判上ノ原則ナリ蓋シ近世ニ於テ國家カ一私人ノ保護要求ナキニモ拘ラス其私法的法律關係ニ干渉スルハ極メテ有害無益ナレハナリ斯ル原則ノ適用トシテ破産宣告ニモ亦當事者ノ申立ヲ必要ト爲ス近世ニ於ケル多クノ破産立法ノ例ト爲ス(獨逸破産法第一〇三條第一項、英吉利破産法第五條、西班牙商法第八七五條、葡萄牙商法第六九六條、我商法亦然) 商法施行法第一三八條、然レトモ商人破産主義ヲ認メタル立法例ノ多クハ佛蘭西商法第四四〇條、白耳義商法第四四二條、伊太利商法第六八四條、ルーマニア商法第七〇一條、アルジャンタン商法第一三八一條、智利商法第一三五六條等(佛

蘭西商法第七百六十八條ニ於テハ破産者ニシテ逃走シ若クハ財産ヲ隠匿スルノ恐アルトキハ檢事ハ破産宣告ヲ求ムル申立權ヲ認メ巧ニ職權開始主義ノ實ヲ取リテ名ヲ取ラナリシ我舊商法第九百七十八條ト同シク破産裁判所ノ職權的破産宣告ヲ認メタリ其理由ハ破産カ公益ニ關スルノ故ニアラス蓋シ犯罪行爲ニ關シテモ仍ホ檢事ノ公訴ヲ必要ト爲セハナリ唯支拂停止ノ事實顯著ナルニモ拘ラス債權者之ヲ知ラス若クハ現在ノ債權者ト債務者トノ間ニ共謀アリテ不在ノ債權者ノ利益ヲ害スルカ如キ場合ニ當リ裁判所ヲシテ干渉セシメ破産手續ノ骨子タル債權者間ノ平等ヲ維持セント欲スルニ在リ斯ル理由ハ立法上之ヲ正當ト認ムルコトヲ得ス蓋シ當事者ノ申立ナキニモ拘ラス職權ヲ以テ干渉ヲ爲シ破産ノ宣告ヨリモ寧ロ有益ニシテ且ツ公益上希望スヘキ當事者間ノ調和ヲ破ルノミナラス支拂ヲ停止シタル債務者ハ現在ノ債權者ト和熟シ不在ノ債權者ハ原因ノ如何ヲ問ハス破産宣告ノ申立ヲ爲ササルニ於テハ毫モ權利ノ衝突ヲ來スコトナキヲ以テ破産手續ニ依リ清算ヲ爲スノ必要ナクレハナリ故ニ商法施行法第三百三十八條ニ於テ職權的破産宣告ノ手續ヲ廢シタルハ甚

タ正當ナリ然レトモ民法第七十條ニ於テ法人ノ破産ニ關シ職權ヲ以テ開始スル主義ヲ認メタルハ公益ヲ以テ理由ト爲スニ在レトモ前示ノ法理ニ徹シ其當ヲ得スト謂ハサルヲ得ス犯罪ニ付キ公訴ヲ必要ト爲スニモ拘ラス法人ノ破産ニ付キ職權ヲ以テ之ヲ開始スト云フハ公益ノ輕重ヲ顛倒シタルモノト謂フヘシ是ヲ以テ獨逸民法第四十二條ハ法人ノ破産ニ付キ理事ノ申立ヲ必要トシ職權開始ヲ認メサリシ

破産ノ宣告ヲ爲スニ申立ヲ必要ト爲ス諸國ノ立法ハ何レモ債務者及ヒ債權者ニ該宣告ノ申立ヲ爲ス權ヲ認メタリ(商法施行法第一三八條、獨逸破産法第一〇三條第二項等)

(A) 債務者ノ申立 支拂ヲ停止シタル商人ニシテ將來破産者タルヘキ債務者ハ破産ノ宣告ヲ求ムル申立權ヲ有ス然レトモ之ヲ申立フルノ義務ヲ負ハス蓋シ債務者ハ少クモ債權者ヲ同等ニ待遇シ甲ヲ利シ乙ヲ害セサルノ德義ヲ負フ故ニ法律ハ支拂ヲ停止シタル債務者ヲシテ斯ル德義ヲ悉サシムルカ爲メニ破産手續開始ノ申立權ヲ與ヘ之ヲ義務ト爲ササルニ外ナラサレハナリ隨テ債務

若ニ破産宣告ヲ求ムル申立權ヲ認ムルハ即チ自己カ破産ノ宣告ヲ受ケ破産手續ノ開始ヲ債權者ニ強フル失當ノ立法ナリト解スヘカラス債務者ノ破産宣告ヲ求ムル申立ハ一ノ處分行爲ナリ何トナレハ債務者カ其財産ヲ破産的差押ニ委テ行爲ナレハナリ隨テ申立ヲ爲ス債務者ハ處分能力ヲ有スルコトヲ必要トス故ニ債務者カ法人ナルトキハ其財産ヲ處分スル權限ヲ有スル機關即チ理事者トキハ清算人カ破産宣告ノ申立ヲ爲シ又債務者カ組合ノ如ク多數人ノ集合ナルトキハ其組合員カ共同ニテ破産宣告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ破産宣告ヲ求ムル申立ハ法律上別ニ方式ヲ規定セサルヲ以テ書面又ハ口頭ニテ爲スコトヲ得民事訴訟法第一三五條準用而シテ獨逸破産法第百四條ハ債務者カ該申立ヲ爲スニ際シ貸借對照表及ヒ財産目錄ヲ同時ニ若クハ爾後遲滞ナク提出スヘキ旨ヲ規定シ以テ裁判官ヲシテ破産宣告ノ理由ノ存否ヲ調査スルノ材料ト爲サシム但シ這ハ破産宣告ヲ求ムル申立ノ形式的要素ニアラサルヲ以テ破産裁判所カ前ノ貸借表及ヒ財産目錄ノ提出ヲ缺クモ爲メニ破産ノ宣告ヲ爲スノ妨ト爲ラス佛蘭西及ヒ伊太利ノ商法ハ債務者ノ申立ナルモノナク唯届出義務

アルノミ其立法上ノ理由ハ破産手續ノ進行ヲ容易ナラシムルニ在リ隨テ該義務ハ債權者ノ申立以後ト雖モ免除セラレルモノニアラス我商法第九百七十九條ハ白耳義商法第四四二條和蘭商法第七六四條等ノ立法例ニ倣ヒ申立權ノ外ニ債務者ノ届出義務ヲ認メ支拂ヲ停止シタル債務者ハ支拂停止ノ日ヲ算入シテ五日內ニ管轄破産裁判所ニ届出ヲ爲シ以テ支拂停止ノ原因ヲ明示スヘキ義務ヲ負ヒ又會社ノ支拂停止ニ關シテハ取締役又ハ清算人ヲ届出ノ責ニ任セシメタリ是レ届出義務ヲ債務者ノ破産宣告ヲ求ムル申立ヲ爲スノ強制手段トスル法意ナルヘシト雖モ立法上失當タルヲ免レス蓋シ不利益ノ自白ヲ通常人ニ強フルハ實行スルコト能ハサル事項ナルヲ以テ届出義務ナル制度自體カ立法上失當ナルノミナラス權利ノ行使ハ權利者ノ自由ナルヘキニモ拘ラス届出義務ヲ以テ其行使ヲ強制スルハ甚タ權利ノ觀念ニ反スレハナリ故ニ獨逸破産法ノ如ク立法スルハ正當ト信ス五日內ノ短期間ニ債務者カ届出ヲ爲ス義務ヲ負フハ蓋シ債務者カ支拂ヲ停止シタル當時ニ於テハ速ニ財産ヲ保全シ各債權者ニ平等ノ満足享有ヲ保障スルニ在リ届出即チ裁判所ニ對シテ爲ス支拂停

止ノ事由ヲ明示スル陳述ハ便宜上書面又ハ口頭ニテ本人又ハ其代人ヨリ爲スコトヲ得第九七九條第一項民事訴訟法第一三五條(第九百七十九條ニ於テ「本人……」ノ明文アルカ故ニ反對推理ニ依リ代人ヨリ届出ヲ爲スコトヲ禁シタルモノト速断スヘカラス病氣等ノ如キ障害ニ依リ本人自ラ之ヲ爲スコト能ハサルトキニ當リ仍ホ本人タルコトヲ要スト云フハ酷ニ失シ適當ノ理由ヲ缺ク(白耳義民法第一九八八條届出ニハ支拂停止ノ事由ヲ明示スルノ外貸借對照表並ニ商業帳簿ヲ添フルコトヲ要ス)貸借對照表ヲ添附スルハ破産ノ性質單純破産若クハ有罪破産ヲ發見スル便宜ヲ與ヘ債權者ノ氏名ヲ認知シ其招集ヲ容易ナラシムルカ爲メ債權者調査ノ便宜ヲ與ヘ且ツ管理ヲ容易ナラシムルカ爲メ又破産手續續行ノ當否ヲ判定スル(商法第九八二條ニ便益アルカ爲メナリ貸借對照表ニハ之ヲ届出ニ添附スル立法上ノ目的ヲ達スル當然)結果トシテ通常貸方即チ財産權ノ種類(價額)借方即チ債務者ノ氏名及ヒ其金額其他支拂停止ノ事由ヲ明白ナラシムルカ爲メニ利益損失並ニ家事費用(身上ノ費用)概要ヲ記載スルヲ以テ(第九七九條第二項佛蘭西商法第四三九條時トシテ五日内ノ短期間

ニ新調スルコト難キコトアリ故ニ貸借對照表提出不能ノ理由ヲ明示シタル手記ヲ代用スルコトヲ許シ(白耳義商法第四四一條第一項又爾後遲滞ナク提出セシムル)立法例アリ(獨逸破産法第一〇四條佛蘭西商法ニ於テハ別ニ法文ナキモ實際上裁判官ニ斟酌ヲ許スニ似タリ我商法ニ於テモ亦然ラン蓋シ不能ハ之ヲ強フルコト能ハサレハナリ又貸借對照表ハ商法第五十條ニ於テ其嚴正ナルヘキコトヲ擔保スト雖モ素ト是レ債權者ノ單獨ニテ作成セタル私署證書ニ過キス故ニ債權者ヲ拘束スルノ效力ナキハ勿論貸借對照表ニハ錯誤又ハ爭論ノ餘地ヲ存シテ掲ケタル債權關係ナキヲ保セサルヲ以テ之ヲ裁判上ノ認諾ト認ムルニ足ラス隨テ債務者ヲモ拘束スルノ效力ナシ唯當事者間ニ爭ナキ場合ニ於テハ承認ノ效力アルヘキヲ以テ時效中斷ノ原因ト爲ル(民法第一四七條第一五六條商業帳簿ヲ添附スルハ支拂停止以後ニ於ケル債務者隨意ノ抹消變更附加等ヲ防止スルノ目的ヲ以テ實在的ノ證明ヲ爲サシムルカ爲メニスルニ外ナラス)第五項(獨逸破産法第一〇四條佛蘭西商法第一〇四條)目録ニ於テハ債權者ノ姓名及ヒ其金額其他支拂停止ノ事由ヲ明示スルヲ以テ(第九七九條第一項)法律ハ債務者ヲシテ其支拂停止ノ届出義務ヲ履行セシムルカ爲メニ之ヲ怠リ

タルトキハ過怠破産者トシテ(第一〇五一條第五佛蘭西商法第五五六條第四、白耳義商法第五七四條第四之ヲ獎勵スル目的ヲ以テ斯ル義務ニ違背セサル債務者ニ協議契約ノ提供ヲ爲スノ利益ヲ認メタリ(第一〇三八條破産ノ宣告ヲ求ムル申立ヲ爲シタル債務者ハ之ヲ爲シタル債權者ト異ニシテ破産手續ニ必要ナル費用殊ニ公告費用ヲ豫納スルコトヲ要セス國庫カ假ニ該費用ヲ支辨スルモノタリ(商法施行法第一四〇條前段蓋シ支拂ヲ停止シタル債務者ニ費用豫納義務ヲ負ハシムルコト能ハサルヲ以テナリ國庫カ支辨シタル費用ハ破産手續上ノ費用トシテ破産財團ヨリ之ヲ支拂フ(第一〇三二條))

破産宣告ノ原因タル支拂ヲ停止シタル債務者カ破産宣告以前ニ死亡シタル場合ニ於テ仍ホ破産ノ宣告ヲ爲スコトヲ認メタル商人破産主義ノ立法國ハ相續人ノ破産宣告ヲ求ムル申立權ヲ認メタリ(智利商法第一三四四條佛蘭西商法多數ノ學説是レ相續人カ破産ノ手續開始ニ因リ前主ノ債權及ヒ債務ノ關係ヲ迅速ニ結了シ殊ニ協議契約上ノ利益ヲ受ケルノ實效アルヲ以テナリ相續財產ニ對スル破産手續ノ開始ヲ認メタル諸國ハ相續人及ヒ相續財產ヲ代表スル權限

ヲ有スル者殊ニ相續財產管理人遺言執行者等ニ破産宣告ノ申立權ヲ認メタリ蓋シ此等ノ者ハ被相續人ニ代ルヘキモノナレハナリ(獨逸破産法第二一七條我商法ハ斯ル重要ナル問題ニ關シ何等ノ規定ヲ設ケサルヲ以テ之ヲ解スルコト頗ル難シト雖モ子輩ハ曩ニ相續財產ニ對シ破産宣告ヲ爲スコトヲ正當ト認メタルヲ以テ相續人及ヒ相續財產ヲ代表スル者ニ破産宣告ノ申立權アルモノト言ハント欲ス(民法第一〇五六條第一一七條參考)

(B) 債權者ノ申立 債權者即チ開始セラルヘキ破産手續ニ於テ破産債權者タル資格ヲ有スル者ハ其自衛方法トシテ支拂ヲ停止シタル債務者ニ對シ破産宣告ヲ爲スヘキ旨ヲ求ムル申立權ヲ有ス此申立ハ一ノ執行行爲タリ何トナレハ自己ノ債權ヲ實行スルカ爲メニ他人ノ財產ノ差押ヲ求ムルモノナレハナリ故ニ該申立ヲ爲ス債權者ハ權利執行ノ能力アルヲ以テ足レリトス隨テ法人カ債權者ナル場合ニ於テハ法人ニ屬スル權利ノ執行ヲ要求スルノ權限アル各機關カ破産宣告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ

破産債權ト爲ルヘキ債權ヲ有スル者カ破産宣告ヲ求ムル申立權ヲ有ス故ニ別

離請求權若クハ破産手續ニ於テ主張スルコトヲ得サル債權ヲ有スル者ハ此申立權ヲ有セス然レトモ破産債權タルヘキ債權ヲ有スル以上ハ其債權額ノ多寡債權ノ性質民事及ヒ商事期限及ヒ條件ノ有無優先權ノ存否債權者ノ員數及ヒ親族關係ノ有無ハ法律ノ問フ所ニアラス是レ總債權者ヲ同等ニ保護スルノ法意ナリ英吉利破産法第六條第一ニ於テハ少クモ五十リブルスタルリシテ債權者タルコトヲ要ス獨逸破産法佛蘭西商法及ヒ我商法ニ於テハ別ニ債權額ノ制限ナキヲ以テ僅少額ノ債權者ト雖モ破産宣告ノ申立權ヲ有スト謂フヘシ立法問題トシテハ斯ル金額上ノ制限ハ大ニ參考スヘキコトト信ス條件附及ヒ期限附債權者ハ債務者ノ急迫的財産上ノ零落及ヒ有害ナル他ノ債權者ニ對スル支拂ヲ防止スルコトノ急迫ナル利害關係アルヲ以テ殊ニ破産手續ノ開始ニ際シ之ニ加ハルコトヲ得ルモノナルヲ以テ破産宣告ヲ求ムル申立權ヲ有スルコトハ獨佛ノ學者間ニ爭ヒナキ所ニシテ又我商法ノ是認シタル所ナリ

優先權ヲ有スル債權者ハ別除請求權者トシテ其目的物ニ付キ完全ナル支拂ヲ受タルコトヲ得ル場合ト雖モ破産宣告ヲ求ムルノ申立權ヲ有ス蓋シ此種ノ債

權者ハ破産宣告以前ニ於テ別除請求權ノ主張カ果シテ商法ニシテ又該主張ノ結果トシテ債務者ニ對スル債權カ消滅スルカ若クハ減額スルヤヲ確定スルコト能ハサレハナリ殊ニ破産者ノ通常債權者タル資格ヲ有スル優先權者ニ通常債權者ノ有スル申立權ヲ認メサルハ優先權ノ效力ヲ減殺スルモノナレハナリ債權額ヲ有スル債權者ハ取立權ヲ有スルトキハ第三債務者ニ對スル破産宣告ノ申立權ヲ有シ反對ノ場合ニハ債務者カ第三債務者ニ對スル破産宣告ノ申立權ヲ有ス蓋シ裁判上質權ノ目的タル債權ヲ請求スル權利者ハ前者ノ場合ニ於テハ質權者ニシテ後者ノ場合ニ於テハ債務者ナレハナリ連帶及ヒ不可分債務關係ニ於テハ各債權者カ破産宣告ヲ求ムルノ申立權ヲ有ス蓋シ各債權者ハ給付ノ全部ヲ請求スルノ權利ヲ有スレハナリ最近親ノ關係アル債權者亦破産宣告ヲ求ムル申立權ヲ有ス但シ破産ノ宣告ハ破産者ノ名譽ヲ害シ之ニ重大ナル結果ヲ蒙ラシムルヲ以テ近親間ニ破産宣告ノ申立權ヲ認ムルハ公ノ德義ヲ害ストノ理由ヲ以テ申立權ニ親族關係上ノ制限ヲ認ムル立法例及ヒ之ヲ贊成スル學說少カラス伊太利商法第六八七條第二項「ルーマニ」商法第七〇〇條智利商

法第一三五五條アルジャンチン商法第一三九五條純然タル商人主義ニ於テハ金錢債權カ親族關係ノ爲メニ其實行ヲ妨ケラルルト云フハ洵ニ解スヘカラサルニ似タリト雖モ忠孝ヲ重スル我美風ヲ維持スルカ爲メニ立法上斯ル制限ヲ設クルハ甚タ正當ナリト認ム

破産宣告ノ申立ヲ爲ス債權者ハ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル所ニ從ヒ破産手續ニ必要ナル費用ヲ豫納スルノ義務ヲ負フ商法施行法第一三九條第一項是レ破産手續ハ債權者ノ利益ノ爲メニ開始スル執行手續ナレハナリ民事訴訟法第五七一條第七二條等參考故ニ裁判所ハ債權者カ該義務ヲ履行セサル場合ニ於テ其申立ヲ棄却スルコトヲ得商法施行法第一三九條第二項然レトモ債權者ハ貧困ニシテ破産手續費用ヲ豫納スルコト能ハサル場合アリ斯ル場合ニ於テハ訴訟上ノ救助ト同一法意ニ依リ國庫カ假ニ破産手續費用ヲ支辨シ單ニ債權者ノ破産手續費用ヲ豫納セサルノ理由ノミヲ以テ債權者ノ申立ヲ棄却セサルヲ正當トス蓋シ若シ然ラズンハ債權者ノ權利伸張ヲ害スルニ至レハナリ商法施行法第一四〇條後段豫納若クハ支辨シタル破産手續費用ハ商法第千三十

二條ニ從ヒテ破産財團ノ負擔タルヤ當然ナリ

支拂ヲ停止シタル商人ハ破産宣告以前ニ於テ死亡シタル場合ニ尙ホ之ニ對スル破産宣告ヲ認メタル商人破産主義ノ立法國ハ死者ノ債權者ニ總相續人ヲ相手方トシテ死亡後一年內ニ破産宣告ヲ求ムル申立權ヲ認メタリ死者ノ總相續人ヲ相手方ト爲ス理由ハ該相續人カ破産ノ宣告ニ付キ大ニ利害ノ關係アルヲ以テナリ相續財產ニ對シ破産ノ宣告ヲ認メタル立法國ハ相續債權者ニ之カ申立權ヲ認メタリ蓋シ相續債權者即チ被相續人カ對人的ニ負ヒタル債務(相續債務ニ對スル權利者ハ相續財產ニ對シ強制執行ヲ爲スノ權利ヲ有シ又相續人ハ相續財產ヲ相續債務ノ辨濟ニ供スヘキ義務ヲ負ヘハナリ)獨逸舊破産法第二〇

五條第一項同新破産法第二一七條以下我破産法ニ於テモ亦然ラン
以上略述シタル申立ハ之ヲ爲シタル債務者若クハ債權者カ破産手續開始決定ノ確定ニ至ルマテ有效ニ之ヲ取下クルコトヲ得隨テ抗告審ニ於テモ亦有效ニ之ヲ取下クルコトヲ得民事訴訟法第一九八條準用但シ同條ニ於ケル口頭辯論ノ終結ニ至ルマテハノ明文ニ拘泥シ裁判ノ確定マテニ有效ニ取下クルコトヲ得ルモノニ

アラスト論結スヘカラス同條第三項ハ適法ナル取下一ハ權利拘束ノ總テノ效力ヲ消滅セシムルノ結果ヲ生スト云ヘリ故ニ判決ノ言渡以後其確定マテハ訴ヲ有效ニ取下クルコトヲ得ルハ獨逸法學者ノ多數ノ見解ナリ破産手續開始決定確定以後ハ多數ノ債權者カ關係スルヲ以テ唯破産手續ニ從ヒテ破産關係ヲ消滅セシムルコトヲ得ルノミ而シテ適法ナル申立ノ取下一アリタルトキハ破産手續ヲ開始スルコトヲ得スト何トナレハ破産手續ノ開始ハ申立ノ存在ヲ前提ト爲セハナリ然レトモ債權者及ヒ債務者ハ其有スル申立權ヲ拋棄スルコトヲ得蓋シ債務者ノ有スル破産宣告申立權ハ單ニ債務者ノ利益ノ爲メニ存スルニアラシテ却テ總債權者ノ利益ノ爲メニモ亦存スルモノナレハナリ又債權者ノ有スル破産宣告ノ申立權ハ自己ノ利益ノミノ爲メニ認メラレタルモノニアラスシテ總債權者ノ利益ノ爲メニ與ヘラレタル裁判上ノ請求權ナレハナリ但シ債權者カ債務者ニ對シ其權利ノ法律保護ヲ求メザル旨ノ特約カ訴權ナキ債權(自然義務)ト爲スノ意味ヲ以テ成立シタルトキハ該債權者ノ權利ハ破産債權タルノ要件ヲ缺クコト前述ノ如シ隨テ該債權者カ破産宣告ヲ求ムル申立權ナキヤ言フ埃タス

破産宣告ノ申立ヲ爲シタル債權者カ破産手續開始以前ニ満足ヲ享有シタルトキハ其申立ヲ取下ケタルトキト同一ノ取扱ヲ爲ササルヘカラス蓋シ破産宣告ヲ求ムル申立權ハ其宣告ヲ爲ス當時ニ存在スルコトヲ要スレハナリ破産宣告ノ申立ハ特別ノ條件ノ存スル場合ニ於テ義務タルコトアリ是レ破産手續ヲ利用シテ債權者ニ最モ完全ナル平等ノ満足ヲ得セシムルカ爲メナリ故ニ法人カ其債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ理事ハ直チニ破産宣告ノ申立ヲ爲ス義務ヲ負フ(民法第七〇條)獨逸民法第四二條第二項而シテ理事カ該義務ヲ履行セサルトキハ連帶セテ之カ爲メニ生シタル損害ヲ法人及ヒ其債權者ニ對シテ賠償スル義務ヲ負ヒ又過料ニ處セラル(民法第八四條)獨逸民法第四二條第二項第二七六條)法人ノ清算人亦法人ノ財產カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナル場合ニ於テ同一義務ヲ負フ(民法第八一條)第八四條)獨逸民法第四八條)第二項)法人ノ理事ニ對スル損害賠償權ハ爾後法人カ破産セタル場合ニ於テ破産財團ノ一部分タルヤ言フ埃タス第二ニ株式會社又ハ株式合資會社ノ取締役及ヒ清算人ハ法律上特定ノ場合ニ於テ會社ニ對スル破産宣告ヲ爲ス旨ノ

申立ヲ爲ス義務ヲ負フ(商法第一七四條第二項第二三六條第二二六條第六號民法第八一條第三ニ相續人相續財産ノ管理人及ヒ遺言執行者ハ相續財産カ相續債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナル場合ニ於テ相續財産ニ對スル破産宣告ヲ爲ス旨ノ申立ヲ爲ス義務ヲ負フコト獨逸民法ニ於ケルカ如キラ正當ノ法則ト信ス(獨逸民法第一九八〇條第一九八五條第二一九七條等)

(二) 商人ノ支拂停止 商人破産主義ノ立法ハ破産宣告ノ原因トシテ商人ノ支拂停止ヲ要件トシ佛蘭西商法第四三七條、白耳義商法第四三七條、伊太利商法第六八三條、葡萄牙商法第六九二條其他智利、アルマニ、アルジャンチン諸國ノ立法一般破産主義ノ立法ハ或ハ破産宣告ノ原因トシテ支拂不能ヲ要件トシ獨逸破産法第一〇二條或ハ或人ニ對シテ支拂停止ノミヲ以テ足レリトシ非商人ニ對シテハ特定ノ事實ニ依リ表示セラレタル無資力ヲ要件ト爲セリ我破産法カ商人破産主義ヲ認メ破産宣告ノ原因トシテ商人ノ支拂停止ヲ要件ト爲シタルコトハ商法施行法第八十三條第一項商人カ支拂ヲ停止シタルトキハ「明文ニ依リ瞭然ナリ我民法ハ一般破産主義ヲ認メタルコトハ前述シタル所ナ

ル所ト一致スルモノニアラス故ニ税金ノ徵收ヲ爲ス前ニ於テ先ツ其標準タルヘキ所得金額ヲ確定セサルヘカラス所得税法ハ其手段トシテ先ツ所得金額ノ届出ヲ爲サシメ調査決定ノ後之ヲ通知シ以テ納稅者ヲシテ豫メ其納ムヘキ稅額ノ若干ナルヤヲ知ラシムルト同時ニ不服ノ點ニ付キ異議ヲ主張スルノ機會ヲ得セシメタリ

一 所得金額ノ届出

法律カ所得金額ノ届出ヲ必要トシタルハ政府ノ知ラサル所ニ於テ納稅義務者ノ漏ルルアルヲ防クト同時ニ政府ノ專擅的認定ニ對シ納稅義務者ヲシテ豫メ其相當トスル所ヲ告白スルノ便利ヲ有セシメントスルノ趣旨ニ出ラタルモノナリ

甲 第一種ノ所得 納稅義務アル法人ハ各事業年度毎ニ損益計算書ヲ所轄稅務署ニ提出スルノ義務ヲ有ス(所得税法第七條)所得税法施行規則第三條所得稅法施行規則第三條ハ每事業年度通常總會後七日以内ニ損益計算書ヲ提出スヘキコトヲ定ムルヲ以テ株式會社及ヒ株式合資會社ノ如ク定時總會ヲ開クヘキ

モノニ在リテハ其總會後七日以内ニ之ヲ提出セサルヘカラスト雖モ合名會社
合資會社ノ如ク法律上定時總會ヲ開クヘキコトヲ定メサルモノニ在リテ若シ
每事業年度一定ノ時期ニ於テ總會ヲ開カサルトキハ損益ノ決算ヲ爲シタル後
相當ノ期間内ニ於テ之ヲ提出スヘキモノナリ

乙 第三種ノ所得 第三種ノ所得ニ付キ納稅義務アル者ハ毎年四月中ニ所得
ノ種類金額及ヒ其計算ノ本ツク所ヲ詳記シ所轄稅務署ニ申告スヘキモノトス
〔所得稅法第八條所得稅法施行規則第四條第一項同居者ニシテ所得金額ノ合算
額ニ依リ所得稅率ヲ定メラルヘキ者ニ在リテハ同時ニ申告セシムルトキハ當該官吏ヲ
ス所得稅法施行規則第四條第二項蓋シ同時ニ申告セシムルトキハ當該官吏ヲ
シテ容易ニ其所得金額ノ合算額ニ依リテ稅率ヲ定ムヘキモノナルコトヲ知ラ
シムルノ利益アルヲ以テナリ

二 所得金額ノ調査 第一種ノ所得ハ損益計算ノ結果ニ依リテ之ヲ定ムヘキモノ
ナルヲ以テ稅務署長ハ法人ノ損益計算書ニ就キ之ヲ調査スヘキモノナリ〔所得

稅法第九條前段損益計算書ハ法人ノ損益ヲ明カニスルモノナルカ故ニ別ニ之
ヲ調査スル必要ナキカ如クナルニ法律カ仍ホ之ヲ調査スヘキコトヲ命シタ
ルハ一見鄭重ニ過クルカ如シト雖モ法人ニ因リテ性質上損金ニアラサルモノ
ヲモ損金トシテ計算シ以テ所得稅ヲ免レンコトヲ謀ル者之レ無キヲ保セサル
ヲ以テ法律ハ此場合ニ於テモ尙ホ調査ヲ爲スヘキモノト爲シ以テ當該官吏ヲ
シテ損益計算書ニ掲上シタル金額ノ正否ヲ檢セシムルト同時ニ其計算ノ當否
ヲ判セシメ之ニ依リテ課稅標準ノ的確ヲ期シタルナリ

納稅義務アル法人ハ損益計算書ヲ提出スヘキコトハ既ニ述フル所ノ如シト雖
モ計算書ハ所得ヲ調査スル材料ニ過キスベテ之ヲ提出セサルモ之カ爲メ其納
稅義務ニ影響スルモノニアラス故ニ此ノ如キ場合ニ於テハ當該官吏ハ其職權
ノ許ス範圍内ニ於テ相當ノ處置ヲ取り以テ法人ノ損益ヲ調査スヘキモノトス
〔所得稅法施行規則第三一條〕

乙 第三種ノ所得 第三種ノ所得ニ關シテハ二段ノ調査ヲ爲スヘキモノトス
〔イ〕稅務署長ノ調査 稅務署長ハ届出ノ有無ニ拘ラス毎年第三種ノ所得ニ付

キ納稅義務アリト認ムル者ノ所得金額ヲ調査シ之カ見積書ヲ調製シテ之ヲ調査委員會ニ送付スヘキモノトス(所得稅法第一〇條)而シテ元來納稅者ノ届出ナルモノハ調査ノ根據ト爲ルヘキモノニアラスシテ單ニ所得決定ノ參考ニ過キサルヲ以テ稅務署長ノ調査シタル所ニ依リ其脱漏又ハ誤記アルコトヲ發見スルモ別ニ之ヲ訂正セシムルニ及ハス稅務署長ハ其相當ト認ムル調査書ト共ニ其儘之ヲ調査委員會ニ送付シテ可ナリ

(ロ) 所得調査委員會ノ調査 稅務署長ノ爲シタル所得ノ調査ハ單ニ調査委員會ノ參考ト爲ルニ過キス所得金額決定ノ基礎ト爲ルヘキモノニアラス決定ノ基礎タルヘキ調査ハ實ニ所得調査委員會之ヲ爲ス所得稅法第九條後段ニ依レハ第三種ノ所得ハ所得調査委員會之ヲ調査スヘキモノナルヲ以テ調査委員會ハ其見ル所ニ依リ適宜ニ之ヲ調査シテ可ナリ故ニ便宜上稅務署長ノ調製シタル調査書ヲ原案トシテ會議スルコトアルヘキモ其決議ハ納稅義務者ノ届出又ハ稅務署長ノ調査ニ依リ拘束セラルヘキモノニアラサルナリ然レトモ稅務署長ノ調査ト雖モ既ニ法律ノ命スル所ニ依リテ之ヲ爲シタルモノニシテ而モ法

律カ調査委員會ノ調査ニ先テ第一著トシテ稅務署長ヲシテ各人ノ所得ヲ調査セシメ其意見ヲ提出セシムル所以ノモノハ之ニ依リテ調査委員會ノ決議ヲシテ遺憾ナキノ域ニ至ラシメントスルニ在ルモノト謂ハサルヘカラス隨テ稅務署長ハ調査委員會ニ於テ其調査ヲ説明シ又ハ之ヲ主持シ以テ二段ノ調査ヲ爲ス所以ノ趣旨ヲ達スルコトヲカムルノ權能ヲ有セサルヘカラス故ニ法律ハ稅務署長又ハ其代理官ヲシテ調査委員會ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得セシメタリ所得稅法第三二條而シテ此ノ如クシテ調査委員會ニ於テ決議シタル結果ハ會長ヨリ之ヲ稅務署長ニ通知セサルヘカラス所得稅法施行規則第一二條) 第三種所得ノ調査ニ關シテハ其稅務署長ノ行フモノニ係ルト將タ調査委員會ノ爲スモノニ係ルトヲ問ハス宜シク所得ノ實額ヲ得シコトヲ期セサルヘカラス所得ノ計算ニ關シテハ既ニ述フル如ク法律ニ於テ之カ規定ヲ設クト雖モ是レ唯大體ニ於ケル原則ヲ示シタルノミ元來第三種ノ所得ハ豫算ヲ以テ之ヲ定ムルモノナルカ故ニ現實ノ收支ヲ計算スルカ如ク計算ノ結果ノミニ依リテ直チニ其實ニ近キモノヲ得ルコト頗ル難キモノナリ故ニ收支計算上ノ些細ノ點

ニノミ重ヲ置キテ調査ヲ爲ストキハ却テ大體ニ於テハ其實ニ違キノ結果ヲ見ルコト尠カラサルヘシ調査ヲ爲ス者ハ須ラク納稅義務者ノ生活信用取引等凡ソ人ノ所得ヲ推定シ得ヘキ事實ニ依リテ大體ニ著眼シ常ニ收支計算ノ結果ト違觀上ノ推定トノ近接ニ依リテ所得ノ調査ヲ爲スコトニ留意セサルヘカラス上述ノ如ク所得ノ調査ナルモノハ調査ヲ爲ス者ノ認定ニ依リテ之ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ調査者ハ認定ヲ爲スノ材料ヲ得ヘキ便宜ヲ有セサルヘカラス故ニ稅務署長又ハ其代理官ハ調査上必要アルトキハ納稅義務アリト認ムル者ニ對シ其所得ニ關スル事實ヲ質問スルコトヲ得ルモノナリ(所得稅法第三四條)法律ハ獨リ稅務署長及ヒ其代理官ニ限テ右ノ權能ヲ與ヘ調査委員又ハ調査委員會ニ對シテハ之ヲ付與セザリシヲ以テ調査委員ハ自ラ納稅義務アリト認ムル者ニ對シ質問ヲ爲スコトヲ得ス但シ調査委員ニ於テ質問ヲ要スル事項ハ之ヲ稅務署長ニ移付シ之ヲシテ質問ヲ爲サシムルコトヲ得ルカ故ニ實際ニ於テハ調査委員會ト雖モ其必要トスル材料ヲ得ルノ便宜ハ之ヲ有スルモノナリト謂フコトヲ得ヘシ

三 所得金額ノ決定

甲 決定 所得金額ハ第一種ニ在リテハ稅務署長ノ調査シタル所ニ依リ第三種ニ在リテハ調査委員會ノ調査シタル所ニ依リ稅務管理局長之ヲ決定スヘキモノナリ所得稅法第九條)所得稅法施行規則第一三條)第三一條)即チ第一種ノ所得ニ付テハ政府ニ於テ其金額ヲ調査シ政府ノ見ル所ニ依リ之ヲ決定スルモノナリト雖モ第三種ノ所得ニ付テハ調査委員會ニ於テ其金額ヲ調査シ政府ハ其決議ニ依リテ所得金額ヲ決定スヘキモノニシテ普通ノ場合ニ於テハ政府ノ調査委員會ノ決議額ト異ナリタル決定ヲ爲スコト能ハサルモノトス但シ政府ニ於テ調査委員會ノ決議ヲ不當ト認ムルトキハ之ヲ再調査ニ付シ調査委員會ヲシテ更ニ相當ナル決議ヲ爲サシムルコトヲ得ルモノナリ(所得稅法第三一條)前段)調査委員會ニ於テ相當ノ調査ヲ爲ストキハ政府ハ其決議ニ依リテ第三種ノ所得ヲ決定スヘキコト右ニ述フル所ノ如シト雖モ調査委員會ニ於テ調査ヲ爲スコト能ハサルカ又ハ相當ノ調査ヲ爲ササルトキハ勢ヒ法律ノ執行者タル政府ニ於テ其見ル所ニ依リ所得金額ノ決定ヲ爲ササルヲ得ス故ニ左ノ場合ニ於テハ

政府ハ其獨斷ヲ以テ所得金額ノ決定ヲ爲スヘキモノトス
(イ) 調査委員選舉ノ不成立又ハ調査委員召集ニ應セザル等其他何等ノ事由ニ因ルヲ問ハス八月三十一日マテニ調査委員會成立セザルカ爲メ調査ヲ爲スコト能ハザルトキ(所得税法第三〇條)

(ロ) 調査委員會ハ成立スルモ八月三十一日マテニ調査終了セザルトキ同上但シ此場合ニ於テ調査終了シタルモノニ付テハ政府ハ調査委員會ノ決議ニ依リテ其所得金額ヲ決定シ唯調査未済ノモノニ限り其見ル所ニ依リ其所得金額ヲ決定スヘキモノナリ

(ニ) 政府ニ於テ調査委員會ノ再調査ヲ求メタル場合ニ於テ其再調査ニ於ケル決議仍ホ不當ナリト認ムルトキ(所得税法第三一條後段)

(三) 政府ニ於テ調査委員會ノ再調査ヲ求メタル場合ニ政ヲ再調査ニ付シタル日ヨリ十五日以内ニ調査委員會ニ於テ調査ヲ終了セザルトキ但シ此場合ニ於テモ政府ニ於テ決定スルハ調査未済ノ所得金額ニ限ルモノナリ同上

(ホ) 所得金額ヲ隱蔽シテ遁稅シタル者處罰セラレタルトキ(所得税法第四六條)

(一) 所得金額ヲ隱蔽シテ遁稅シタル者自首シタルトキ(同上)

乙 通知 稅務管理局長第一種又ハ第三種ノ所得金額ヲ決定シタルトキハ之ヲ納稅義務者ニ通知セザルヘカラス(所得税法第三五條)所得稅法施行規則第一三條蓋シ所得金額ハ課稅ノ標準タルモノナルカ故ニ納稅義務者ヲシテ之ニ依リテ豫メ其納ムヘキ稅額ニ若干ナルヤヲ知ラシメ負擔ノ準備ヲ爲サシムルノ必要アルノミナラス場合ニ因リテハ其變更ヲ求ムルノ機會ヲ得セシメザルヘカラサルヲ以テナリ

丙 救濟 稅務管理局長所得金額ヲ決定シテ納稅義務者ニ通知シタルトキハ所得金額ハ之ニ因リテ確定スルモノナルカ故ニ其間誤調アリシト雖モ漫ニ之ヲ變更スルコトヲ得ス之ヲ變更スルニハ必ス法律ノ定メタル救濟方法ニ依ラサルヘカラス同一ノ所得ヲ重複ニ計算シ又ハ所得税法第五條ニ該當スル所得ヲ算入シテ決定ヲ爲シタルカ如キ極端ナル場合ト雖モ尙ホ政府ハ任意ニ其決定シタル金額ヲ變更スルコトヲ得サルモノナリ(所得税法施行規則第三二條)故ニ納稅義務者ニシテ政府ノ通知シタル所得金額ニ對シ不服ナルトキ之カ救

濟ヲ求メントセハ必ス審査請求、訴願、行政訴訟ノ三者其一ノ方法ニ依ラサルヘカラス

(イ) 審査請求 審査請求トハ政府ノ決定シタル所得金額ヲ不當トシ事實ヲ審査シ更ニ相當ノ決定アラシコトヲ請求スルヲ謂フ審査ヲ請求スルニハ所得金額ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ不服ノ事由ヲ具シ證據書類ヲ添ヘ稅務管理局長ニ申出テナルヘカラス(所得稅法第三六條)所得稅法施行規則第一四條而シテ審査請求ニ對シ審査委員會ノ決議ニ依リ更ニ決定ヲ爲スニ至ルノ手續ハ略ホ 調査委員會ノ調査ニ依リ所得金額ノ決定ヲ爲ス場合ニ於ケル手續ト相似タルモノナルカ故ニ茲ニハ其說明ヲ省略ス(所得稅法第三七條)所得稅法施行規則第二八條、第二九條、第三〇條)

審査請求ナルモノハ事實ノ再審査ヲ求ムルモノナルヲ以テ審査ヲ請求アリタルトキハ審査委員會ハ請求者ノ所得全體ニ付キ更ニ相當ノ調査ヲ爲スヘキモノニシテ其結果既ニ決定シタル金額ノ實ニ過クルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ減額スヘキハ勿論ナリト雖モ事實決定金額ヨリ多額ノ所得ヲ有スルコト明カナ

ルトキハ亦之ヲ増額スルニ於テ何等妨タル所アルモノニアラサルナリ但シ審査ノ結果ニ因リ更ニ所得金額決定セラルルマテハ既ニ通知セラレタル金額ヲ以テ確定ノモノト爲ササルヘカラサルカ故ニ審査ノ結果發表セラレル前ニ於テ納期ノ到來シタル場合ニ於テハ納稅義務者ハ其全額ニ依リテ稅金ヲ納メサルヘカラス而シテ審査ノ結果該金額ト同シカラサル所得金額ノ決定アルニ至リタル場合ニ於テハ更ニ追徴又ハ還付ヲ爲スヘキモノトス(所得稅法第三八條)

(ロ) 訴願 所得金額ハ課稅ノ標準ナルヲ以テ不當ナル標準ニ依リ所得稅ヲ賦課セラレタル場合ニ於テハ之ニ對シ訴願ヲ爲スコトヲ得ヘキハ訴願法ニ於テ何等疑ヲ容レサル所ナリト雖モ所得金額ノ決定アリタル場合ニ於テ未タ所得稅ノ賦課ナキニモ拘ラス其決定ニ對シ訴願ヲ提起スルコトヲ得ヘキヤ否キハ訴願法ニ於テハ頗ル疑ハシキ問題ナリト謂ハサルヘカラス然ルニ所得稅ノ賦課ニ付キ不服ヲ訴フル者ハ賦課ノ手續等ニ付テ異議ヲ申立ツルカ如キハ甚タ稀ニシテ多クハ所得ノ有無又ハ其金額ノ多少ノ點ニ於テ爭アルモノナルヲ以テ所得金額ノ決定通知ニ對シ直チニ訴願ヲ提起スルヲ得ト爲スコト不服者ニ救

濟ヲ與フルニ於テ最モ適スルモノト謂ハサルヲ得ス所得稅法ハ此方針ニ依リ
 其第三十九條ヲ以テ所得金額ノ決定ニ對シ不服アル者ハ訴願ヲ爲スコトヲ得
 〔ヘキ旨ヲ明言シタリ該條ハ廣ク所得金額ノ決定ニ對シ不服アル者ト規定シ其
 決定ヲ調査委員會ノ決議ニ依リテ爲サレタルト將タ審査委員會ノ決議ニ依リ
 テ爲サレタルトニ依リテ區別セサルカ故ニ孰レノ場合ニ於テモ不服者ハ訴願
 ヲ提起スルコトヲ得ルモノトス所得稅法第三十九條ノ規定ヲ解シテ單ニ審査
 委員會ノ決議ニ依リ決定シタル所得金額ニ對シテノミ訴願ヲ許シタルモノト
 爲スハ理由ナクシテ法文ノ意義ヲ縮小スルモノニシテ解釋ノ當ヲ得タルモノ
 ト爲スコト能ハス

(ハ) 行政訴訟 所得金額ノ決定ニ對シ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得ルコトモ亦所
 得稅法第三十九條ノ規定スル所ナリ蓋シ不服者ヲシテ現今存スル救濟ノ途ハ
 總テ之ヲ盡スコトヲ得セシメ以テ遺憾ナカラシムルノ趣旨ニ出テタルモノナ
 リ

第四 所得ノ更訂

校外生規則摘要

- 一 講義録ハ各部毎月二回發行シ滿一今年ヲ以テ卒業トス
- 一 一今年ヲ以テ完了セザルトキハ號外ヲ發ス
- 一 講義録ハ之ヲ三部ニ分ツ其發行定日左ノ如シ
 - 第一部 毎月 五日 二十日
 - 第二部 毎月 十日 廿五日
 - 第三部 毎月 十五日 三十日
- 一 月謝金ハ全部壹圓、各一部四十錢トス但シ入學金ヲ要セズ
- 一 校外生ハ本校講談會、討論會ニ出席傍聽スルコト及ヒ本校ノ出版ニ係ル書籍雜誌ハ特別ノ廉價ヲ以テ購求スルコトヲ得
- 一 校外生全部卒業證書ヲ有スル者ハ試験ノ上校內生三年級ニ編入セラルコトヲ得
- 一 校外生ハ講義録中ノ疑義ニ付キ質問スルコトヲ得問題ハ一問毎ニ別紙ニ認メ且一問毎ニ返信用郵券ヲ封入スルコトヲ要ス
- 一 三個月以上月謝不納ノ者ハ退學者ト看做ス
- 一 月謝ハ東京飯田町郵便支局拂和佛法律學校會計係宛トスヘシ

明治廿二年十二月九日內務省許可

明治三十四年五月六日印刷
明治三十四年五月十日發行

編輯者 小田幹治郎
發行所 東京市四谷區四谷仲町三丁目三十八番地

印刷者 金子鐵五郎
東京市芝區西ノ久保明善町十一番地

印刷所 金子活版所

東京市總町區富士見町六丁目十六番地

發行所 和佛法律學校

司法省
指定

(電話番町百七十四番)